

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎勤労者福祉 ○雇用支援の充実

労働環境対策事業

商工課

※重点事業(事業CD:6-3-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 勤労者福祉
施策の方針 雇用支援の充実

【 事業の目的 】

対象 勤労者等

意図 勤労者の労働環境の向上を図るため。

効果 基礎資料を得るとともに労働問題への啓発を図り、労働団体への補助金の交付を通して勤労者の福利厚生の実現を図りながら、雇用対策の充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・労働動態調査、地区労働団体との協議、補助金の交付を行った。
- ・雇用対策事業を実施し、雇用促進を図った。
- ・求職者向け就労支援事業を行った。
- ・勤労者等に向けた労働相談等事業を行った。
- ・若者・女性の就労支援に向けた事業を行った。
- ・企業と就労希望者とのマッチングを推進した。
- ・労政全般に係る庶務的業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,777	6,777	6,408		369
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	事務補助嘱託員報酬 2人	2,117	2,087	
9節	事務補助嘱託員費用弁償	167	152	
11節	消耗品費	76	76	
12節	就職対策ミニ講座等周知広告料	630	621	
13節	就労困難若年者支援業務委託料	486	486	
	就労困難若年者家族カウンセリング業務委託料	389	356	
	メンタルヘルスカウンセリング業務委託料	143	143	
	労働相談業務委託料	486	486	
	就職対策ミニ講座業務委託料	1,140	804	
	鎌倉の企業就職面接会会場設営業務委託料	200	118	
	鎌倉の企業就職面接会チラシ及びポスター作成業務委託料	0	85	
14節	鎌倉の企業就職面接会等会場使用料	30	81	
19節	湘南合同就職面接会実行委員会負担金	130	130	
	協働事業負担金(働くまち鎌倉推進～キャリアのセカンドステップ～)	300	300	
	県駐労福祉センター運営費補助金	33	33	
	労働祭補助金	300	300	
	鎌倉地区勤労者体育大会補助金	150	150	

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎勤労者福祉 ○働く環境の充実

勤労者福利厚生事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 勤労者福祉
施策の方針 働く環境の充実

【 事業の目的 】

対象 勤労者

意図 勤労者のために融資預託、その他の支援を行うため。

効果 勤労者の生活環境向上及び福祉の増進

【 事業の内容 】

- ・ 勤労者退職金共済機構等との新規契約者に掛金の一部を補助した。
- ・ 福利厚生事業を行う労働団体に補助金を交付した。
- ・ 市内に居住、勤務している勤労者の生活の安定と福利厚生を増進を図るため、勤労者生活資金融資を実施する中央労働金庫に資金を預託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
35,830	35,830	35,822		8

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
19節 中小企業退職金共済掛金補助金	300	292
三浦半島地域労働者福祉協議会補助金	530	530
21節 中央労働金庫預託金	35,000	35,000

鎌倉市勤労者生活資金融資利用状況

	新規貸出(30.4~31.3)		貸出残高(31.3末現在)	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)
生活資金	7	17,310,000	56	52,199,754

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎勤労者福祉 ○働く環境の充実

勤労者福祉支援事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 勤労者福祉
施策の方針 働く環境の充実

【 事業の目的 】

対象 勤労者

意図 湘南勤労者福祉サービスセンターの活動を支援するため。

効果 勤労者の福利厚生の実現

【 事業の内容 】

- ・ 中小企業勤労者の福利厚生の向上を目的として事業を行う湘南勤労者福祉サービスセンターへ負担金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
22,598	22,598	22,597		1

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

19節 湘南勤労者福祉サービスセンター運営事業費負担金

22,598

22,597

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

○勤労者福祉 ○技能振興の充実

技能振興事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 勤労者福祉

施策の方針 技能振興の充実

【 事業の目的 】

対象 技能職者

意図 技能職者の技術水準の向上や、社会的地位の向上を図るため。

効果 技能振興を図る。

【 事業の内容 】

- ・技能功労者等の表彰、技能祭の共催及び技能職団体連絡協議会の活動を支援することにより、技能振興を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
500	500	368		132

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
1節 技能者表彰選考委員会委員報酬 8人	30	24
8節 技能者表彰記念品等報償費	170	74
11節 消耗品費	30	0
19節 技能職団体連絡協議会補助金	270	270

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

市民生活部商工課(勤労者福祉担当)

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	19,761	19,960
・ 2節 給料 一般職	9,155	9,164
一般職職員 2人		
・ 3節 職員手当等	7,105	7,457
扶養手当	136	0
地域手当	1,395	1,375
通勤手当	376	376
超過勤務手当	682	1,299
休日給	0	57
期末勤勉手当	4,100	4,115
住居手当	236	235
児童手当	180	0
・ 4節 共済費	3,501	3,339
市町村職員共済組合負担金		

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 5 農業委員会費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

農業委員会事務

【 農業委員会事務局 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 産業振興
施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 農業従事者等

意図 農地法等に基づく農地問題の公正円滑な処理、農地の農業上の利用増進、農業経営の合理化を行うため。

効果 鎌倉市に適した都市農業を目指す。

【 事業の内容 】

- ・ 農業委員会委員報酬の執行、遊休農地解消対策事業の実施など農業委員会に関する事務事業を行った。
- ・ 農地管理システムを運用し、市内農地について農地法に基づく適正な管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,725	14,971	7,022		7,949
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節 農業委員会委員報酬 13人		5,148	5,148	
農業委員選定委員会委員報酬		208	0	
8節 収穫まつり入賞記念品		5	5	
9節 農業委員費用弁償		31	12	
事務局職員普通旅費		58	20	
11節 消耗品費		400	212	
農機具等修繕料		100	0	
13節 農地管理システム地図データ変換業務委託料		77	77	
14節 農地管理システム使用料		1,431	1,431	
神奈川県農業委員大会マイクロバス借上料		59	59	
19節 農業委員会職員事務研究会負担金		8	8	
遊休農地解消対策協議会負担金		200	50	
<主な特定財源>				
・国県支出金				158

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 10 農業水産業総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

【

職員課

】

【 対象となる職員 】

市民生活部農水課(農水担当)

農業委員会事務局

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	62,169	61,122
・ 2節 給料 一般職	28,234	27,411
一般職職員 7人		
・ 3節 職員手当等	23,220	23,240
扶養手当	1,054	887
地域手当	4,542	4,392
通勤手当	475	402
超過勤務手当	1,034	2,045
管理職手当	987	987
期末勤勉手当	12,895	12,874
住居手当	1,478	1,493
児童手当	755	160
・ 4節 共済費	10,715	10,471
市町村職員共済組合負担金		

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

農業振興運営事業

【 農水課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 産業振興
施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 農業従事者等

意図 農業施策上必要な協議調整や事業を行い、農業経営の安定と農産物の安定供給を図るため。

効果 農業経営の安定と農産物の安定供給

【 事業の内容 】

- ・ 農業者・関係団体等から組織する協議会において、鎌倉の農業振興について協議・検討を行った。
- ・ さがみ農業協同組合に鎌倉ブランド事業や秋の収穫まつり事業などに係る補助金を交付し、農業の振興を図った。
- ・ 人・農地プラン(地域農業マスタープラン)に基づく、農業の担い手の確保、遊休農地の解消及び国の施策に基づく担い手の育成・支援のための制度の円滑な運用を図った。
- ・ 農道として利用されている市道066-081号線の道路維持修繕工事を行った。
- ・ 前年度からの繰越明許費により、農業振興地域の整備に関する法律に基づき策定した農業振興地域整備計画の見直しを行った。
- ・ 平成30年台風第24号により農業用施設に被害を受けた農業者に対し、国・県と協調して、復旧及び撤去等に係る費用への補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
22,072	36,469	26,766		9,703
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
7節 臨時的任用職員賃金			836	687
8節 鎌倉市農業振興協議会委員等報償費			165	97
11節 消耗品費			215	182
13節 地産地消推進パンフレット作成委託料			110	100
農業振興地域整備計画見直し業務委託料 (前年度からの繰越明許費)			0	562
15節 道路維持修繕工事請負費			16,600	13,260
19節 農業関係団体負担金			196	196
農業振興事業費補助金			2,450	2,450
新規就農者確保支援事業交付金			1,500	0
鎌倉市経営体育成支援事業補助金			0	9,232
<主な特定財源>				
・ 国県支出金				6,593
・ 地方債				11,900

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

市民農園事業

【

農水課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 市民

意図 市民が野菜及び草花の栽培を通じて自然と触れ合い、農業への親しみ及び理解を深める機会を提供するため。

効果 市民が農作業を行うことにより、農業への理解が得られるとともに、農地のレクリエーション機能の活用が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 大船地区市民農園について、維持管理を行った。
- ・ 土地所有者が開設する市民農園の相談や支援を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,006	1,006	992		14
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	市民農園耕作指導報償費		504	504
12節	燃料費		3	0
13節	市民農園草刈等業務委託料		256	245
	市民農園広報板設置業務委託料		243	243

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

水産業振興運営事業

【 農水課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 産業振興
施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 漁業従事者等

意図 水産関係団体との連携を図るとともに、栽培漁業の推進などにより、漁業経営の安定化を図り、地域に即した漁業の振興を図るため。

効果 つくり育てる漁業の推進を支援することにより、水産業の振興を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 漁業協同組合への補助金の交付、各種水産関連団体への参加等により、水産業の振興を図った。
- ・ 鎌倉市水産業振興計画の策定及び推進に関し調査審議を行う委員会を設置し、鎌倉市水産業振興計画の策定を進めた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,564	2,564	2,043		521
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	鎌倉市水産業振興計画推進委員会委員報酬 8人		0	126
8節	鎌倉市水産業振興協議会委員報償費		84	0
11節	消耗品費		120	57
19節	神奈川県水難救済会等負担金		360	360
	漁業施設等災害支援金		500	0
	鎌倉漁業協同組合事業費補助金		1,000	1,000
	腰越漁業協同組合事業費補助金		500	500

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

漁港施設管理事業

農水課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 漁業従事者等

意図 腰越漁港施設の良好な維持管理を行うため。

効果 円滑な漁業活動の推進を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 漁港施設維持運営計画及び機能保全計画に基づき、漁港施設の維持管理を行った。
- ・ 漁港区域に含まれる腰越海岸に堆積した砂の搬出及び海浜整地業務等を行った。
- ・ 機能保全計画に基づき、腰越漁港1号泊地の浚渫工事を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
120,327	120,327	119,945		382
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	漁港施設等維持修繕料		500	458
13節	腰越海岸海浜整地等業務委託料		2,247	1,998
	腰越海岸砂防柵移設等業務委託料		0	245
	腰越漁港1号泊地浚渫工事監理等業務委託料		6,761	4,979
	腰越漁港浚渫ガラ運搬業務委託料		0	313
15節	腰越漁港1号泊地浚渫工事請負費		110,819	111,952
<主な特定財源>				
	・国県支出金			58,300

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

鎌倉地域漁港対策事業

【

農水課

】

※重点事業(事業CD:6-1-1-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 産業振興
施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 漁業従事者等

意図 鎌倉地域の漁港建設について検討するとともに、漁業者の就労環境の改善、漁船の安全確保、台風等の災害対策などの当面の支援策を実施するため。

効果 当面の支援策の実施により、鎌倉地域における漁業の安全性の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 将来的な漁港整備について検討した。
- ・ 台風等の災害対策や漁業者の就労環境の改善を図るための支援施設を整備するにあたり、計画の熟度を高めるため、上部利用の検討、静穏度解析や関係機関との協議等を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,586	9,772	9,772		0

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

13節 導入施設等詳細検討支援業務委託料
静穏度解析等業務委託料

3,586 2,860
0 6,912

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 5 商工総務費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

商工運営事業

商工課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 産業振興
施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 事業者等

意図 商工業の振興、物産振興を図るため。

効果 産業の維持、発展と活力あるまちの創出を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 商工事務事業に係る庶務的業務を行った。
- ・ 萩市、上田市、足利市及び鎌倉市の特産品を一堂に集め、それぞれの物産と観光を市民に紹介する姉妹都市物産展を開催した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,918	2,918	2,826		92
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 2人		2,117	2,117
9節	事務補助嘱託員費用弁償		199	140
11節	消耗品費		113	112
13節	姉妹都市物産展設営等委託料		419	396
	姉妹都市物産展仮設電源設置等委託料		61	61
	姉妹都市物産展紙看板作成委託料		9	0

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 5 商工総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

【

職員課

】

【 対象となる職員 】

共創計画部市民相談課(消費生活担当)

市民生活部商工課(商工担当)

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
職員給与費		58,791	51,403
・ 2節 給料	一般職	25,785	23,154
	一般職職員 6人		
	短時間勤務職員 1人		
・ 3節 職員手当等		22,286	19,070
	扶養手当	888	715
	地域手当	4,149	3,728
	通勤手当	723	759
	超過勤務手当	2,726	1,507
	管理職手当	987	987
	期末勤勉手当	11,452	10,173
	住居手当	821	821
	児童手当	540	380
・ 4節 共済費		10,720	9,179
	市町村職員共済組合負担金	9,258	8,004
	社会保険料	1,439	1,130
	雇用保険料	23	45

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

中小企業支援事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 産業振興
施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 中小企業者等

意図 市内の中小企業者の健全な発展及び振興を図るため。

効果 安定的な事業経営・新規事業展開の実現を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 制度融資を利用した際に支払う信用保証料について、その一部を補助することにより、中小企業者等の負担軽減を図った。
- ・ 経営安定資金融資を利用した際に支払う利子について、その一部を補助することにより、中小企業者等の負担軽減を図った。
- ・ 市の制度融資を実行するための原資となる資金を金融機関へ預託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
508,630	506,223	505,730		493

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
19節 信用保証料補助金 74件	7,800	5,195
経営安定資金融資利子補給金 37件	830	535
21節 中小企業融資預託金	500,000	500,000
預託先 4 金融機関		
融資件数 68件		
融資金額 280,200千円		

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

商工会議所助成事業

商工課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 産業振興
施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 事業者等

意図 事業者等の安定的な経営を確保し、商工業の振興と総合的な改善・発達を図るため。

効果 地域産業の振興と活力あるまちの創出を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 商工業の総合的な改善・発達と社会一般の福祉の増進を目的とする商工会議所の運営及び事業に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,667	14,667	14,667		0

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

19節 商工会議所運営費補助金	6,935	6,935
商工業振興事業等補助金	553	553
中小企業経営支援事業補助金	7,179	7,179

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

商店街振興事業

商工課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 産業振興
施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 商店街等

意図 商店街が行う各種事業に対して支援を行い、商店街の活性化を図るため。

効果 商店街を支援することにより、まちの活性化と地域産業の振興の実現を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 専門家の助言を必要とする商店街団体に対してアドバイザーを派遣し、助言・指導を行った。
- ・ 鎌倉市商店街連合会の組織強化と活性化を支援した。
- ・ 商店街団体の街路灯及び電飾アーチの電気料金の一部を助成した。
- ・ 商店街団体が実施する売上の増加が見込まれる事業、地域住民との交流が見込まれる事業等に要する経費の一部を助成した。
- ・ 商店街団体が実施する共同施設の設置に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
18,255	16,155	14,588		1,567
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	商店街アドバイザー謝礼		125	75
19節	商店街連合会補助金		1,710	1,710
	商店街街路灯等維持管理費補助金		4,150	3,942
	商店街活性化事業費補助金		5,153	3,238
	商業振興共同施設設置費補助金		7,117	5,623

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

商工業振興事業

商工課

※重点事業(事業CD:6-1-2-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 産業振興
施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 事業者等

意図 創業支援、新規に立地する企業に対する支援、市内における企業の設備投資及び中小企業者の経営革新に対する支援等を行い、商工業の振興を図るため。

効果 商工業の持続的な発展と、活力あるまちの創出を図る。

【 事業の内容 】

- ・地域の資源を活用して創業する事業や新しい商品・技術の開発、サービスの提供を行う事業に要する経費の一部を助成した。
- ・資生堂鎌倉工場跡地のうち、市への寄附を予定されている土地について、産業用地として活用する事業者を審査選考した。
- ・鎌倉テレワーク・ライフスタイル研究会の事務局として、テレワークの普及啓発を図った。
- ・市内事業者が情報発信・交流することができるサイトを運営した。
- ・国のプレミアム付商品券事業については、年度内に実施しないため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・市内事業者が実施する地域及び地球環境との共存・共生を図るための施設整備事業や、中小企業者が実施する経営基盤強化事業に要する経費の一部を助成した。
- ・企業が市内に立地する際に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
37,576	28,775	9,078	10,699	8,998
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	商工業元気アップ事業選定委員会委員報酬 4人		62	42
	資生堂鎌倉工場跡地立地事業者選考審査会委員報酬 4人		62	84
8節	商工業元気アップ事業フォローアップ診断謝礼		25	25
	鎌倉テレワーク・ライフスタイル研究会発足式講師等謝礼		0	90
13節	企業情報発信・交流サイト運営委託料		778	778
	不動産鑑定評価業務委託料		0	410
	鎌倉テレワーク・ライフスタイル研究会発足式チラシ作成業務委託料		0	84
	プレミアム付商品券事業委託料(翌年度への繰越明許費)		0	0
14節	鎌倉テレワーク・ライフスタイル研究会発足式会場使用料		0	70
19節	神奈川県企業誘致促進協議会負担金		41	41
	商工業元気アップ事業費補助金		2,000	1,000
	経営アドバイザー派遣事業補助金		108	0
	環境共生施設整備費補助金		9,000	1,500
	経営基盤強化事業費補助金		1,500	361
	企業立地整備費等補助金		24,000	4,593

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

公衆浴場助成事業

商工課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 産業振興
施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 公衆浴場業者

意図 公衆浴場の健全な運営を支援し、市民の利便性の確保と公衆衛生の向上に努めるため。

効果 公衆浴場業者を支援することにより、市民の利便性の確保と公衆衛生の向上・増進に繋がり、
更には地域におけるコミュニティの場の創出を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 公衆浴場の設備の整備に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
730	730	534		196

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

19節 公衆浴場設備整備費補助金

730

534

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

伝統鎌倉彫振興事業

商工課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 伝統鎌倉彫事業協同組合

意図 鎌倉で唯一「伝統的工芸品」として指定されている鎌倉彫の高度な技術の伝承と地場産業としての振興を図るため。

効果 伝統鎌倉彫事業協同組合が行う各種事業を支援することにより、鎌倉彫産業の振興を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉彫振興事業所の維持管理を行った。
- ・ 伝統的工芸品産業の振興を図る団体に加入し、情報収集を図った。
- ・ 伝統鎌倉彫事業協同組合が行う鎌倉彫創作展、小・中学生の体験教室等に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,666	4,673	4,435		238
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節 鎌倉彫振興事業所光熱水費		522	393	
鎌倉彫振興事業所維持修繕料		200	1,111	
12節 鎌倉彫振興事業所消防用設備保守点検手数料		25	23	
13節 鎌倉彫振興事業所警備委託料		128	117	
19節 伝統的工芸品産業振興協会負担金		50	50	
伝統鎌倉彫振興事業補助金		2,741	2,741	

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 15 消費生活対策費

◎消費者対策 ○消費者施策の推進

消費者自立支援事業

【 市民相談課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 消費者対策
施策の方針 消費者施策の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 消費者被害を未然に防ぐなどの啓発を行うとともに、商品・サービスの購入に係る苦情を受けるため。

効果 消費者被害防止、食の安全などの情報を市民に向けて伝え、また消費者の苦情相談に対し、あっせん、助言、調停などを通じ被害の救済を図ることができる。

【 事業の内容 】

- ・消費者被害を未然に防ぐため、消費生活講座、移動教室や広報紙への掲載などによる啓発を行った。
- ・消費生活相談員による消費生活に関する苦情相談、助言を行った。なお、消費生活紛争調停委員会の調停に付する案件はなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,660	13,660	12,675		985
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	消費生活相談員報酬 7人	11,633	10,925	
	消費生活委員会委員報酬 7人	82	72	
	消費生活紛争調停委員会委員報酬	30	0	
8節	移動教室、講座講師等謝礼	225	165	
9節	消費生活相談員費用弁償	997	897	
11節	消耗品費	101	57	
	印刷製本費	235	205	
12節	電信料	37	37	
13節	消費生活相談員助言委託料	300	300	
19節	消費生活相談員研修負担金	20	17	
<主な特定財源>				
	・国県支出金			2,326

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 5 観光総務費

◎観光 ○地域が一体となった観光振興の推進

観光運営事業

観光課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 地域が一体となった観光振興の推進

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 「住んでよかった、訪れてよかった」まちづくりに取り組むため。また、他の自治体と連携し、広域的な観光振興を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・ 第3期鎌倉市観光基本計画を推進させるため、新たな体制作り等の調整を行った。
- ・ 他の自治体・関係団体との連携により、広域観光の情報発信や情報交換等を行った。
- ・ 今後のインバウンド対策を図るにあたり、鎌倉に来訪する外国人観光客を把握するための調査を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
18,776	18,776	18,028		748
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 2人		2,117	2,073
	観光情報発信等嘱託員報酬 1人		1,296	1,296
	鎌倉市観光基本計画推進委員会委員報酬 9人		100	0
7節	臨時的任用職員賃金		772	676
8節	観光基本計画推進委員会検討会謝礼		0	25
9節	事務補助嘱託員費用弁償		432	42
11節	消耗品費		198	196
13節	観光施設整備事業寄附PR業務委託料		216	108
	訪日外国人観光客実態調査委託料		11,925	11,902
19節	三浦半島観光連絡協議会負担金		1,000	1,000
	神奈川県観光振興対策協議会負担金		210	200
	鎌倉藤沢観光協議会負担金		180	180
	神奈川県観光協会負担金		90	90
	北條五代観光推進協議会負担金		50	50
	全国足利氏ゆかりの会負担金		40	40
	東大寺サミット負担金		150	150

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 5 観光総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

【

職員課

】

【 対象となる職員 】

市民生活部観光課

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	58,231	59,010
・ 2節 給料 一般職	23,085	21,475
一般職職員 6人		
・ 3節 職員手当等	25,157	28,318
扶養手当	1,401	1,302
地域手当	3,839	3,582
通勤手当	634	448
超過勤務手当	5,023	9,353
休日給	718	260
管理職手当	1,102	1,102
期末勤勉手当	10,691	10,182
住居手当	669	1,095
管理職員特別勤務手当	0	94
児童手当	1,080	900
・ 4節 共済費	9,989	9,217
市町村職員共済組合負担金		

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○観光都市としての質の向上

観光振興事業

観光課

※重点事業(事業CD:6-2-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 観光都市としての質の向上

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 多様な観光プログラムと最新の観光情報を提供するとともに、市民・事業者のホスピタリティの向上と観光客のモラルの向上を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・ かまくら四季のみどころ(8月から「鎌倉みどころ散歩」へ名称変更)や観光マップ等の充実を図り、観光客への適切な情報提供を行った。
- ・ 外国人観光客の増加への対策として、外国語ガイドの育成を図るとともに、活動の支援を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,831	11,736	9,809		1,927
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 印刷製本費			2,780	1,353
13節 外国語版パンフレット作成業務委託料			1,836	1,289
観光マップ「鎌倉」作成業務委託料			1,458	1,278
かまくら四季のみどころ編集業務委託料			1,646	1,549
あじさいマップ作成委託料			270	270
かまくら四季のみどころマップ作成委託料			1,475	1,068
鎌倉スポーツビーチ水道管敷設等業務委託料			0	74
タグラグビー及びラグビー体験教室運営業務委託料			0	372
19節 外国語ガイド活動支援負担金			1,100	1,100
外国語ガイド研修負担金			1,517	707
観光情報ツイート事業負担金			300	300
外国文化・宗教対応支援事業負担金			299	299
観光案内図作成事業負担金			150	150

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○安全で快適な観光空間の整備

観光案内所運営事業

【 観光課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 観光
施策の方針 安全で快適な観光空間の整備

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 観光案内業務を通じて観光客の利便性向上を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

・ JR鎌倉駅東口の観光案内所の運営を委託し、観光客に対し適切な情報提供を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
24,640	24,640	23,614		1,026
＜支出内訳＞			当初予算額	支出済額
12節 電信料			120	99
13節 観光案内所業務委託料			22,453	21,469
14節 観光案内所ブース賃借料			1,944	1,944
観光案内所デジタルサイネージ使用料			63	62
19節 観光案内所電気使用料負担金			60	40

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○安全で快適な観光空間の整備

観光施設整備事業

観光課

※重点事業(事業CD:6-2-2-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 安全で快適な観光空間の整備

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 観光基盤施設を整備し、観光客が安全で快適に観光できる受入環境の整備を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・観光客の誰もが安全で快適に観光できるように、観光案内板等の新設・改修・修繕や、公衆トイレの改修・修繕、ハイキングコースの安全確保等観光客の受入環境の整備を行った。
- ・外国人観光客の利便性向上を目指し、屋内型Wi-Fi接続設備の設置補助や屋外型Wi-Fi接続設備の維持管理を行った。
- ・民間が行う公衆トイレの新設に補助金を交付し、観光客の利便性を高めた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
155,395	107,010	95,264		11,746
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節	消耗品費	100	60	
	光熱水費	1,300	1,148	
	鎌倉駅東口公衆トイレ修繕料	44,550	3,015	
	鶴岡八幡宮裏公衆トイレ給水引き込み修繕料	3,690	0	
	公衆トイレ等維持修繕料	3,000	3,195	
12節	電信料	830	829	
	公衆トイレし尿処理手数料	1,700	1,196	
	備品倉庫消防設備点検手数料	13	13	
13節	観光案内板等作成委託料	3,920	761	
	ハイキングコース等観光施設整備業務委託料	1,000	448	
	屋外型Wi-Fi接続設備保守委託料	856	856	
	本覚寺公衆トイレ改築工事監理業務委託料	2,160	1,825	
	極楽寺駅公衆トイレ解体委託料	13,543	0	
	極楽寺駅公衆トイレアスベスト含有調査委託料	0	95	
14節	由比ガ浜大通り公衆トイレ賃借料	1,102	1,102	
	屋外ライブカメラ等賃借料	233	233	
15節	本覚寺公衆トイレ改築工事請負費	43,838	43,837	
19節	本覚寺公衆トイレ水道加入負担金	816	815	
	公衆トイレ電気・水道使用料等負担金	492	333	
	ハイキングコースパトロール事業等負担金	252	252	
	極楽寺駅公衆トイレ解体事業負担金	0	4,751	
	公衆トイレ建設工事費等補助金	30,000	30,000	
	屋内型Wi-Fi接続設備整備補助金	2,000	500	

<主な特定財源>

- ・国県支出金
- ・地方債

30,139

17,900

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○地域が一体となった観光振興の推進

観光振興支援事業

【 観光課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 地域が一体となった観光振興の推進

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 観光事業者、観光団体、市民・市民団体等様々な観光主体が一体となり、地域全体で観光振興を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

・鎌倉花火大会、鎌倉ビーチフェスタ、俳句&ハイク等に負担金を交付し、本市の観光振興の充実を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
23,456	23,456	23,454		2
<支出内訳>		当初予算額 支出済額		
19節 主要観光行事安全対策負担金		4,750	4,750	
鎌倉ビーチフェスタ事業負担金		1,100	1,100	
俳句&ハイク事業負担金		540	540	
第70回花火大会負担金		17,066	17,064	

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○地域が一体となった観光振興の推進

観光協会支援事業

【 観光課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 地域が一体となった観光振興の推進

【 事業の目的 】

対象 鎌倉市観光協会・観光客等

意図 様々な観光主体のネットワークの中心となり、観光宣伝と観光客誘致を行う鎌倉市観光協会の支援を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉の観光に係る情報の発信力を強化するため、鎌倉市と鎌倉市観光協会の観光ウェブサイトを統合し、利便性の向上を図った。
- ・ 鎌倉市観光協会の運営や鎌倉まつり、薪能等の事業に対する支援を行い、本市の観光振興の充実を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
57,243	57,243	57,242		1

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

13節 観光サイト統合委託料

9,980 9,979

19節 鎌倉市観光協会運営費等補助金

47,263 47,263

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 15 海水浴場費

◎観光 ○安全で快適な観光空間の整備

海水浴場運営事業

観光課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 観光
施策の方針 安全で快適な観光空間の整備

【 事業の目的 】

対象 海水浴客等

意図 海水浴場の公衆衛生、危険防止及び秩序保持を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・ 海水浴場開設に必要な施設・設備の整備を行った。
- ・ なぎさの整地、監視業務等を実施し安全確保を図った。
- ・ 安心して快適な海水浴場を実現するため、警備員の配備や啓発看板の設置を行った。

【 事業費 】

(単位: 千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
75,367	75,367	74,529		838
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 消耗品費			266	196
燃料費			15	0
印刷製本費			100	88
光熱水費			15	11
12節 電信料			141	99
13節 海水浴場監視業務等委託料			30,371	30,371
海水浴場等警備業務委託料			11,848	11,807
砂防柵設置・撤去及びなぎさ整地業務委託料			5,789	5,798
放送設備及び放送塔設置委託料			4,209	4,209
コースロープ設置及び撤去業務委託料			2,508	2,508
仮設木橋設置等委託料			1,274	1,210
防犯灯及び監視所電灯配線設置等委託料			897	897
海水浴場水道管敷設等委託料			637	637
仮設木橋材料保管・運搬業務委託料			616	611
看板作成委託料			500	212
海水浴場開き式会場設営等委託料			162	128
海水浴場水質調査業務委託料			83	0
海水浴場関連廃棄物処理委託料			44	44
14節 監視所・仮設トイレ等賃借料			15,390	15,312
19節 海水浴場監視業務用電気・水道使用料負担金			502	391

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎防災・安全 ○地震対策・風水害対策の充実

がけ地対策事業

【 総合防災課 】

※重点事業(事業CD:5-1-1-8)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 防災・安全
施策の方針 地震対策・風水害対策の充実

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民の保護を図るため。

効果 防災工事を施工し市民の保護を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 既成宅地におけるがけ崩れや土砂の流出等による災害の発生を防ぐため、防災工事費及び伐採工事費の一部を助成した。
- ・ 急傾斜地崩壊危険区域の指定の促進を図り、県が行う急傾斜地防災工事事業費の約2割を負担した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
101,224	88,424	81,490		6,934
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	事務補助嘱託員報酬 2人	2,117	2,095	
9節	事務補助嘱託員費用弁償	288	109	
11節	消耗品費	100	100	
19節	急傾斜地防災工事負担金	64,440	45,337	
	神奈川県治水砂防協会等負担金	229	229	
	既成宅地等防災工事費補助金	34,000	33,620	
	既成宅地等防災工事費利子補給金	50	0	

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎防災・安全 ○危機管理対策

放射性物質測定事業

浄化センター

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 危機管理対策

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 放射性物質の測定を行い、市民生活の安全を図るため。

効果 給食食材等の放射性物質の測定を行うことにより、市民生活の安全を確保する。

【 事業の内容 】

- ・ 学校や保育園の給食食材等の放射性物質を測定した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,629	3,629	3,008		621
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
7節	放射性物質測定事務臨時的任用職員賃金		2,289	2,138
11節	放射性物質測定用消耗品費(液体窒素等)		520	514
	放射性物質測定装置修繕料		463	0
13節	放射性物質測定装置点検委託料		357	356

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道(水)路調査事業

道水路管理課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 道路整備
施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全な市民生活の基礎となる道水路整備を的確に行うための道路・水路の境界確定を行うほか、狭あい道路を拡幅整備することにより、防災・交通等都市機能の向上を図るため。

効果 道路・水路との境界が未確定の箇所をなくし、市内全域の道路・水路の管理区域を確定することでの的確な整備・管理を行うとともに、道路の後退用地を確保し、拡幅することで、安全で住みよいまちを実現する。

【 事業の内容 】

- ・境界確定申請に基づき現地調査を実施した。測量委託業者を選定し、土地所有者との立会を行い境界の確定後、境界確定図を作成した。
- ・市道の狭あい道路拡幅整備事業の申請を受け、測量業務を行い、道路用地を取得した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
81,086	95,788	90,329		5,459
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節 事務補助嘱託員報酬 3人		3,176	3,153	
7節 土地境界確定図交付事務等臨時的任用職員賃金		1,254	1,181	
9節 事務補助嘱託員費用弁償		438	111	
11節 消耗品費		891	891	
12節 筆界特定申請等手数料		910	856	
13節 境界確定等測量・調査業務委託料		39,840	39,811	
境界立会73回、打合せ協議7回、境界点測量589点、石標埋設65本 金属標埋設48枚、4級基準点測量(伐採なし)4,828.3m及び316点 同(伐採あり)380.5m及び7点、確定図作成95,146.9㎡外				
狭あい道路拡幅整備事業境界確定立会等業務委託料		8,160	22,595	
境界立会52回、打合協議4回、境界点測量265点、石標埋設30本 金属標埋設38枚、4級基準点測量(伐採なし)1,121.5m及び165点 同(伐採あり)0m及び5点、確定図作成50,023.6㎡外				
14節 電子複写機賃借料		416	400	
17節 狭あい道路拡幅用地等購入費		26,000	21,330	
道水路用地購入費		1	1	
<主な特定財源>				
・国県支出金				3,766

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路台帳整備事業

道水路管理課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路法で調製及び保管が義務付けられている道路台帳の整備を行い、道路管理上の基礎的事項を総括して把握するため。

効果 良好な道路管理が可能となり、住民サービスの向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・道路状況の経年変化に伴う道路台帳の補正や認定路線網図の補正を行った。
- ・亡失や位置ずれ等が生じた既存境界点や基準点の復元等及び開発等における境界点の設置を行った。
- ・道路・水路等の境界確定図等を管理・交付するための土地境界確定図システムを運用した。
- ・境界復元や開発等の境界設置に使用する境界杭等を購入した。
- ・前年度からの繰越明許費により、材木座及び由比ガ浜の各一部の地籍調査事業(官民境界等先行調査)を実施し、道路・水路等の官有地と民有地との境界確定を行った。
- ・材木座及び大町の各一部外の地籍調査事業(官民境界等先行調査)により、道路・水路等の官有地と民有地との境界確定を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
87,325	107,997	84,280		23,717
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節 事務補助嘱託員報酬 1人			1,059	1,058
7節 法定外公共物所管事務等臨時的任用職員賃金			2,681	2,578
9節 事務補助嘱託員費用弁償			150	0
11節 消耗品費			673	673
13節 境界杭復元等業務委託料			42,822	22,571
4級基準点測量2,626.9m及び172点、石標埋設復元57本				
金属標埋設復元147枚、金鉾埋設復元235本				
境界点復元測量502点、検査探索1,712点、地形測量4,769.2㎡外				
道路台帳補正及び認定路線網図作成等業務委託料			11,815	11,805
基準点機能回復測量業務委託料			1,034	734
土地境界確定図管理システム保守業務委託料			1,205	1,205
地籍調査事業測量等業務委託料(前年度からの繰越明許費含む)			22,220	40,082
14節 土地境界確定図管理システム賃借料			3,666	3,574
<主な特定財源>				
・国県支出金				27,327

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路施設管理事業

【 道水路管理課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路機能を良好に保持するため。

効果 多様化する生活環境や市民等の安全性・快適性の向上を図るため、常に良好で円滑な道路機能の保持を図る。

【 事業の内容 】

・道路利用者の安全性・快適性を保ち良好で円滑な道路機能を保持するための業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
123,191	121,116	109,800		11,316
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節 事務補助嘱託員報酬 2人			2,117	2,109
9節 事務補助嘱託員費用弁償			300	137
11節 消耗品費			373	373
燃料費			1	0
光熱水費			8,560	8,556
道路管理施設維持修繕料			5,614	5,159
12節 電信料			400	363
路上放置自動車リサイクル等手数料			15	746
道路賠償補償等保険料			853	853
13節 鎌倉駅通抜地下道清掃業務委託料			285	285
看板作成業務委託料			195	194
道路維持業務委託料			16,133	5,916
大船駅監視設備保守管理業務委託料			648	648
大船駅エレベーター等設備保守管理業務委託料			9,277	9,277
大船駅ペDESTリアンデッキ等清掃業務委託料			3,641	3,266
大船駅管理施設警備監視業務委託料			16,872	14,564
鎌倉駅通抜地下道排水ポンプ・ディーゼルエンジン保守点検業務委託料			50	50
鎌倉駅通抜地下道排水設備ポンプ制御盤装置保守点検及び水槽清掃業務委託料			147	147
路上放置自動車処理業務委託料			10	0
北鎌倉隧道の通行禁止に伴う歩行者誘導業務委託料			13,300	13,365
14節 大船駅西口ペDESTリアンデッキ用地賃借料			1,542	1,542
大船駅西口公共広場用地賃借料			40,639	40,639
19節 神奈川県道路利用者会議等負担金			219	219
22節 道路事故賠償金			2,000	1,392

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

街路照明灯事業

道水路管理課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 道路整備
施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 夜間等の通行車両や市民等の安全確保のため。

効果 道路の街路照明灯の良好な維持管理を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 既存の街路照明灯の維持修繕等を行い、市民が安全な生活を送れるまちづくりを図った。
- ・ 安全な通行を確保するために街路照明灯の設置整備を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
24,087	26,162	25,799		363
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 市内街路照明灯電気料			15,114	16,555
街路照明灯維持修繕料			4,104	4,605
13節 街路照明灯設置業務委託料			300	71
14節 LED街路照明灯賃借料			4,569	4,568

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

行政経営部公的不動産活用課(公的不動産維持担当)

防災安全部総合防災課(がけ地対策担当)

都市景観部のうち都市調整課・開発審査課・建築指導課

都市整備部のうち都市整備総務課・道水路管理課・作業センター

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
職員給与費		828,410	794,451
・ 2節 給料 一般職		380,082	365,441
	一般職職員 93人		
	短時間勤務職員 6人		
・ 3節 職員手当等		309,362	295,219
扶養手当		13,311	13,449
地域手当		60,774	58,602
通勤手当		9,471	9,520
超過勤務手当		25,249	18,959
休日給		837	20
管理職手当		11,748	11,666
特殊勤務手当		134	1
期末勤勉手当		168,752	164,236
住居手当		14,506	13,824
管理職員特別勤務手当		0	132
児童手当		4,580	4,810
・ 4節 共済費		138,966	133,791
市町村職員共済組合負担金		134,536	130,707
社会保険料		4,137	2,804
雇用保険料		293	280

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

土木管理運営事務

【 都市整備総務課 】

※重点事業(事業CD:0-2-1-6)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 計画の推進に向けた考え方

分野 行財政運営

施策の方針 行財政運営

【 事業の目的 】

対象 部内各課

意図 事務事業の円滑な執行を行うため。

効果 事務事業の進行管理及び連絡調整を行うことにより、安全で快適な生活環境の整備を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 部内の一般会計に係る予算要求、執行管理、決算・監査に関する事項を行った。
- ・ 旅費及び郵便料の執行管理、工事の進行管理など部内の庶務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,666	1,857	1,830		27
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節 一般文具等消耗品費		166	141	
13節 平成30年度道路施設維持管理共同システム台帳情報入力業務委託料		0	649	
14節 平成30年度道路施設維持管理共同システム使用料		2,500	1,040	

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

作業センター事業

【 作業センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 計画の推進に向けた考え方
分野 行財政運営
施策の方針 行財政運営

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民の安全性、利便性、快適性への迅速な対応を確保するため。

効果 安全で円滑な交通の確保、親しみやすい河川・緑地等の形成を図る。

【 事業の内容 】

・道路、河川、緑地等の維持補修及び側溝、管水路のしゅんせつを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
150,533	150,533	115,987		34,546
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節 補修用消耗品費		1,507	1,484	
作業用車両燃料費		2,000	1,489	
光熱水費		134	106	
道路管理施設等維持修繕料		26,947	15,487	
資材置場等維持修繕料		180	99	
備品修繕料		581	382	
作業用車両修繕料		4,000	3,183	
医薬材料費		38	38	
12節 電信料		612	308	
消防設備保守点検手数料		20	19	
13節 上町屋資材置場警備委託料		100	100	
残土処分委託料		3,878	2,159	
カーブミラー設置業務委託料		4,731	3,348	
高圧洗浄による排水管路等しゅんせつ清掃業務委託料		10,682	8,359	
道路側溝等しゅんせつ汚泥運搬処分業務委託料		6,669	4,288	
道路・河川清掃等業務委託料		48,919	38,901	
14節 維持補修用重機賃借料		4,046	3,977	
FAX付コピー機賃借料		127	45	
16節 補修用原材料費		35,000	31,861	
19節 法定講習負担金		8	7	
27節 自動車重量税		354	347	
* 補修用原材料費内訳				
アスファルト合材	529.3 t	12,262 千円		
カーブミラー部材	90 面	4,225 千円		
グレーチング蓋	205 枚	1,671 千円		
スチール透水蓋	215 枚	2,956 千円		
U型側溝蓋等	431 枚	2,355 千円		
生コンクリート他	1 式	8,392 千円		

＊補修班による維持補修	アスファルト合材舗装工	450 m ²
	アスファルト舗装打換工	431 m ²
	パッチング	1,059 m ²
	カーブミラー新設・補修工	169 件

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

設計事務

【 公的不動産活用課 】

※重点事業(事業CD:0-2-1-7)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 計画の推進に向けた考え方
分野 行財政運営
施策の方針 行財政運営

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全・快適な施設利用の促進及び維持管理費用(ランニングコスト)削減を図るため。

効果 安全・快適な施設利用、経済的な施設管理及び建物の長寿命化を図る。

【 事業の内容 】

・ 建築積算システム機器の賃借及び保守を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,344	10,344	10,262		82
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	設計業務等補助嘱託員報酬 3人		4,320	4,320
	鎌倉市旧図書館耐震診断業務委託報告書の調査に関する 検証専門員 3人		0	135
9節	設計業務等補助嘱託員等費用弁償		319	262
11節	消耗品費		1,527	1,467
	印刷製本費		80	0
14節	建築積算システム機器賃借料		2,360	2,360
	営繕積算システム賃借料		1,602	1,602
	電子複写機賃借料		136	116

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 10 建築指導費

◎防災・安全 ○地震対策・風水害対策の充実

建築相談事業 【 建築指導課 】

※重点事業(事業CD:5-1-1-9)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 地震対策・風水害対策の充実

【 事業の目的 】

対象 昭和56年5月31日以前に建築された一戸建ての住宅・2世帯住宅・店舗併用住宅(いずれも在来工法で木造2階建て以下)・マンション等

意図 当該建築物等を所有する市民の安全を図るため。

効果 建築物等の安全性に対する市民の防災意識の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 窓口で耐震相談を受け、希望者に現地耐震診断を行い、診断費用を補助した。
- ・ 木造住宅の耐震改修工事を行った場合の費用を補助した。
- ・ 危険ブロック塀等の除却及び除却後にフェンスの設置を行った場合の費用を補助した。特に津波浸水想定区域内を重点的に補助した。
- ・ 共同住宅等への耐震改修アドバイザーの派遣及びマンションの耐震診断費用の補助については、申請がなく実施できなかった。
- ・ 耐震改修促進計画に位置付けられた、耐震診断義務路線に接する一定の高さ以上の建築物の耐震診断費用を補助した。

【 事業費 (単位:千円) 】

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
64,063	70,050	57,073		12,977
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	危険ブロック塀等指導嘱託員報酬 2人		3,456	3,456
8節	耐震改修アドバイザー派遣事業謝礼		102	0
9節	危険ブロック塀等指導嘱託員費用弁償		288	219
11節	消耗品費		200	163
	印刷製本費		0	27
13節	耐震相談業務委託料		357	285
19節	現地耐震診断補助金		2,800	1,100
	木造住宅耐震改修工事費等補助金		12,800	9,539
	危険ブロック塀等対策事業補助金		31,918	41,444
	マンション耐震診断補助金		1,500	0
	避難路沿道建築物耐震診断補助金		10,642	840
<主な特定財源>				
	・ 国県支出金			24,747

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 10 建築指導費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

都市調整運営事務

【

都市調整課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 市街地整備
施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 計画的な土地利用によるまちづくりの推進のため。

効果 災害に強く、市民の福祉を高め、かつ環境保全に配慮した安全で快適なまちづくりの実現を図る。

【 事業の内容 】

- ・鎌倉市開発事業における手続及び基準等に関する条例等に関する業務を行った。
- ・開発事業等に係る公共施設管理者の同意及び協議に基づく協議書に関する業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,300	6,300	5,994		306
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 2人、同(開発等許認可指導) 1人		5,177	5,047
9節	事務補助嘱託員費用弁償		573	398
11節	消耗品費		540	539
19節	神奈川県八市開発許可研究協議会負担金		10	10

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 10 建築指導費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

開発審査事務

【 開発審査課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 市街地整備
施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 開発事業者等

意図 開発許可制度等を活用して、安全で住みやすい宅地の造成、秩序ある都市づくりを図るため。

効果 安全で快適な住環境の創造を図る。

【 事業の内容 】

- ・都市計画法及び宅地造成等規制法による各種申請等の受付、審査、許可書の交付を行った。
- ・開発行為、宅地造成工事の完了検査及び検査済証の交付を行った。
- ・神奈川県開発審査会案件を付議した。
- ・開発許可等の違反に対する是正指導及び措置を行った。
- ・租税特別措置法に基づく優良宅地の認定は、申請がなかったため行わなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
357	357	353		4

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

11節 一般文具等消耗品費	202	199
開発登録簿複写、カラーコピー等印刷製本費	155	154

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 10 建築指導費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

建築指導事務

建築指導課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 市街地整備
施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 建築確認申請者等

意図 建築物の安全の確保を図るため。

効果 安心して住める建築物の確保

【 事業の内容 】

- ・ 建築確認申請等に関する事務及び建築基準法に基づく許認可等に関する業務を行った。
- ・ 建築審査会に関する事務及び各種協議会等に関する業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,132	12,132	9,330		2,802
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節 建築審査会委員報酬 3人			288	224
建築審査会専門委員報酬			128	0
事務補助嘱託員報酬 2人			2,117	2,095
7節 臨時的任用職員賃金			475	412
9節 事務補助嘱託員等費用弁償			318	79
11節 消耗品費			422	390
12節 特定行政庁団体賠償責任保険保険料			50	50
13節 特殊建築物等定期報告業務委託料			5,687	4,338
長期優良住宅及び低炭素建築物の認定に係る技術的審査業務委託料			324	0
建築審査会等会議録作成業務委託料			749	176
14節 建築行政共用データベースシステム利用料			1,128	1,128
公会堂等使用料			4	0
19節 神奈川建築コンクール負担金			105	105
神奈川県建築物震後対策推進協議会負担金			156	156
日本建築行政会議等負担金			181	177

建築基準法に基づく確認申請及び許可等申請状況

件 名	件 数
建 築 確 認	39
計 画 通 知	28
建 築 許 可	110
道 路 位 置 指 定	2
長期優良住宅認定	186
低炭素建築物認定	20

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 5 道路橋りょう総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路橋りょう管理運営事業

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全で円滑な交通を確保するための施設保全を図る。

【 事業の内容 】

・ 土木積算総合システム保守及び機器等の管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
38,566	38,566	36,157		2,409
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 消耗品費			447	447
印刷製本費			16	0
備品修繕料			49	49
13節 土木積算総合システム保守委託料			7,862	7,862
工事資材単価調査業務委託料			366	124
土木積算総合システム改元対応委託料			702	0
14節 土木積算総合システム機器賃借料			24,223	22,778
市町村システム使用料			4,320	4,320
電子複写機賃借料			581	577

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 5 道路橋りょう総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
 防災安全部市民安全課
 都市整備部道路課(整備担当)

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
職員給与費		136,649	122,902
・ 2節 給料	一般職	58,496	51,794
	一般職職員 15人		
	短時間勤務職員 2人		
・ 3節 職員手当等		54,367	50,897
	扶養手当	1,897	1,760
	地域手当	9,209	8,181
	通勤手当	1,837	1,254
	超過勤務手当	9,541	12,632
	休日給	764	167
	管理職手当	987	986
	期末勤勉手当	25,257	22,093
	住居手当	3,510	2,607
	管理職員特別勤務手当	0	17
	児童手当	1,365	1,200
・ 4節 共済費		23,786	20,211
	市町村職員共済組合負担金	22,227	19,385
	社会保険料	1,510	779
	雇用保険料	49	47

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 8 交通安全施設費

◎総合交通 ○交通安全意識の高揚

交通安全対策事業

【 市民安全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 総合交通
施策の方針 交通安全意識の高揚

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 交通環境の改善を図り、関係機関等との連携により、交通安全教育をはじめ各種交通安全対策を推進し交通事故による死傷者数の減少を図るため。

効果 交通事故及び死傷者の減少を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉市の交通安全を推進するため、市内交通関係機関及び団体相互の連絡を密にし、総合的・効果的な交通安全対策を推進し、交通事故防止を図るための各種事業を実施した。
- ・ スクールゾーンの交通安全対策として、カラー舗装等を実施した。
- ・ 富士見町駅下横断歩道に、交通誘導員を通学時間帯に配置した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
22,665	22,717	21,996		721
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	交通安全教育指導員報酬 3人		4,620	4,620
8節	自転車教室指導員謝礼		512	420
9節	交通安全教育指導員費用弁償		413	401
11節	消耗品費		483	474
	交通安全啓発看板の緊急撤去修繕料		0	53
12節	交通安全教室損害保険料		30	30
13節	スクールゾーン対策業務委託料		6,500	6,358
	富士見町駅下交通誘導業務委託料		782	759
19節	鎌倉市交通安全対策協議会補助金		9,000	8,561
	鎌倉交通安全協会補助金		160	160
	大船交通安全協会補助金		160	160
22節	交通安全教室参加者賠償金		5	0

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 8 交通安全施設費

◎総合交通 ○駐輪対策の推進

放置自転車防止事業

【 市民安全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 総合交通

施策の方針 駐輪対策の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 自転車等の放置防止により市民等の通行の安全、災害時の緊急活動の円滑化を図るため。

効果 駐輪場整備及び放置自転車等の警告移動を行い、市民等の通行の安全を図る。

【 事業の内容 】

- ・駐輪場への誘導及び放置自転車等に対する警告や、警告後も移動しない放置自転車等の移動を委託した。
- ・放置しづらい環境づくりのため、歩行者の通行に配慮したプランター等の設置を委託した。
- ・市が管理する駐輪場の巡回管理及び放置自転車等保管場所の警備を委託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
44,770	46,010	44,698		1,312
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	放置自転車等返還業務嘱託員報酬 9人		8,680	8,645
	事務補助嘱託員報酬 2人		2,117	2,095
9節	放置自転車等返還業務嘱託員等費用弁償		532	351
11節	消耗品費		111	53
	印刷製本費		221	190
	光熱水費		374	318
	放置自転車等保管場所等維持修繕料		409	459
12節	電信料		80	72
	放置自転車等賠償責任保険料		27	27
13節	放置自転車等保管場所警備業務委託料(大船)		87	87
	放置自転車等保管場所警備業務委託料(鎌倉)		130	87
	放置自転車等防止対策看板設置委託料		500	459
	放置自転車等防止対策業務委託料		27,519	26,800
	大船地域自転車等保管場所フェンス設置委託料		1,515	2,646
14節	稲村ガ崎自転車等駐車場土地使用料		178	177
	鎌倉駅西口第1自転車等駐車場土地使用料		2,187	2,187
16節	駐輪場設置及び修繕用原材料費		103	0
22節	施設管理に起因する事故の損害賠償金		0	45

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 8 交通安全施設費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

交通安全施設維持事業

【

道路課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全な交通を確保し、事故防止を図るため。

効果 交通の円滑化、安全性の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 道路ラインの補修等を行い交通事故防止を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,671	6,671	5,748		923
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	ガードレール塗装等維持修繕料 (延長60.2m 塗装面積51.3㎡)		462	421
	カラー舗装等維持修繕料 (薄層カラー舗装 123.2㎡、区画線 延長151.9m)		1,709	844
13節	道路ライン等設置業務委託料 (区画線 延長5,465.7m、文字記号 延長3,051.02m)		4,500	4,483

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 8 交通安全施設費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

交通安全施設整備事業

道路課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 道路整備
施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全な交通を確保し、事故防止を図るため。

効果 交通の円滑化、安全性の向上を図る。

【 事業の内容 】

- 交通安全施設を改修し、安全で円滑な交通を確保するとともに、通学路の安全対策を実施した。
- 市道046-000号線外の交通安全対策施設工事(歩道段差等改善)を行った。
- 市道015-022号線の交通安全対策施設工事(ガードレール設置等)を行った。
- 市道055-000号線の交通安全対策施設工事(歩道修繕)及び市道027-000号線の交通安全施設整備工事(歩道整備)は、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。
- 前年度からの繰越明許費により、市道059-007号線外の交通安全対策施設工事(ガードレール設置等)及び市道027-000号線の交通安全施設整備工事(舗装、現場打L型側溝等)を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
32,098	48,526	18,029	14,495	16,002
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
15節 交通安全対策施設工事請負費			32,098	18,029
内訳				
浄明寺六丁目2番先外(市道038-000号線外)歩道段差等改善			7,960	0
梶原三丁目15番先外(市道046-000号線外)			9,515	8,752
歩道段差等改善 15箇所				
七里ガ浜二丁目7番先(市道015-022号線)			8,597	2,409
ガードレール設置 延長166.5m、支柱塗装工 58本				
西鎌倉一丁目19番先(市道055-000号線)			6,026	0
(翌年度への繰越明許費)歩道修繕				
大船二丁目20番先外(市道059-007号線外)			0	6,868
(前年度からの繰越明許費)				
ガードレール設置 延長76m、転落防護柵設置 延長104m				
排水構造物工 1式、舗装工 1式、道路附属施設工 1式				
交通安全施設整備工事請負費			8,467	6,456
内訳				
常盤863番地先(市道027-000号線)			8,467	0
(翌年度への繰越明許費)歩道整備				
常盤863番地先(市道027-000号線)(前年度からの繰越明許費)			0	6,456
舗装工 延長41m 面積58.1㎡、現場打L型側溝 延長41m				
側溝蓋改修 延長41m				

<主な特定財源>

・国県支出金

3,977

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 10 道路維持費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路維持補修事業

道路課

※重点事業(事業CD:5-4-1-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 道路整備
施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全で円滑な交通を確保するための施設保全を図る。

【 事業の内容 】

- 道路の維持補修を行い、安全で円滑な交通を確保し、事故防止に努めるとともに、通学路の安全対策を実施した。
市道068-000号線、市道025-000号線、市道053-000号線外、市道204-090号線、市道060-109号線外の道路維持修繕工事を行った。
新西鎌倉横断歩道橋の修繕工事を行った。
前年度から繰越明許費により、鎌倉駅西口駅前の視覚障害者誘導用ブロック等を設置した。
また、御成小学校南東角付近から福祉センターに至るまでの市道(008-082号線外)に視覚障害者誘導用点字樹脂プレートを設置した。
- 崩落土砂の撤去、落石防護柵倒壊対策等を行い、通行の安全を確保した。
- 大船駅東口ペデストリアンデッキの修繕工事に必要となる設計業務を行った。
- 大船駅西口ペデストリアンデッキ、小袋谷横断歩道橋及び岡本塩原隧道等のトンネルの点検調査を行った。
- はく落が発生した岩瀬隧道の復旧に向けて、設計業務及び復旧工事を行った。
- 岩瀬隧道の通行禁止に伴い、岩瀬中学校の通学路の迂回ルートと位置付けた市道057-034号線仮設照明を設置し、生徒の通行の安全を確保した。
- 前年度から繰越明許費により、平成29年度北鎌倉隧道安全対策検討業務を行った。
- 引続き東日本旅客鉄道株式会社にJR北鎌倉駅仮改札口開設業務を依頼した。また、小袋谷横断歩道橋の点検調査を依頼し、完了した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
352,147	556,001	476,580		79,421
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 道路維持修繕料			8,835	5,039
内訳				
坂ノ下18番先(市道010-000号線)(落石防護柵補修工)				1,080
佐助一丁目7番先(市道027-000号線)(落石防護柵補修工)				1,069
大船一丁目2番先(市道209-081号線)(雨漏り補修工)				1,156
玉縄一丁目860番先(市道052-004号線)(側溝蓋補修工)				756
山崎1005番地先(市道055-015号線)(歩道段差解消工)外2件				978
12節 筆耕翻訳料			0	50
13節 崩落土砂処分等業務委託料			7,000	8,803
内訳				
西鎌倉二丁目1番先(新西鎌倉歩道橋)(塗膜飛散対策)				470
寺分一丁目20番先(市道047-043号線)(崩落土砂処分等)				45

	岩瀬929番3先(市道060-012号線)(緊急点検等)		378
	岩瀬929番3先(市道060-012号線)(崩落土砂処分等)		5,724
	常盤861番6先(市道027-000号線)(崩落土砂処分等)		393
	玉縄四丁目1番1先(市道053-000号線)(落石防護柵倒壊対策等)		1,793
	大船駅東口ペデストリアンデッキ修繕設計委託料	7,193	5,746
	大船駅西口ペデストリアンデッキ点検調査業務委託料	5,206	3,294
	トンネル点検業務委託料	38,696	23,398
	横断歩道橋点検調査業務委託料(小袋谷歩道橋)	2,149	1,880
	岩瀬隧道復旧対策検討業務委託料	0	15,887
	通学路仮設照明設置業務委託料	0	471
	平成29年度北鎌倉隧道安全対策検討業務委託料 (前年度からの繰越明許費)	0	45,252
14節	公用駐車場土地賃借料	0	900
15節	道路維持修繕工事請負費	249,654	340,862
	内訳		
	大船五丁目7番先(市道068-000号線)	22,475	16,870
	舗装工 延長260m 面積1,686㎡		
	鎌倉山三丁目5番先(市道025-000号線)	19,332	16,974
	舗装工 延長340m 面積2,458㎡		
	岡本一丁目6番先外(市道053-000号線外)	19,095	16,418
	舗装工 延長299.9m 面積2,230㎡		
	十二所833番地先(市道204-090号線)	11,783	6,469
	舗装工 延長258.7m 面積820㎡		
	大規模住宅団地内(今泉台)表面処理工	22,421	9,058
	今泉台七丁目18番先外(市道060-109号線外)		
	舗装工 延長292.6m 面積1,580.6㎡		
	横断歩道橋維持修繕工事(新西鎌倉横断歩道橋)	24,548	62,083
	横断歩道橋補修工、橋面補修工、横断歩道橋付属物工 一式		
	北鎌倉隧道安全対策工事	100,000	0
	御成町20番先外(市道008-082号線外)	30,000	12,468
	視覚障害者誘導用点字樹脂プレート設置工 面積79.1㎡		
	排水工 延長129.5m		
	岩瀬隧道復旧工事(岩瀬929番3先)(市道060-012号線)	0	134,356
	トンネル復旧工 一式		
	岩瀬隧道復旧工事その2(岩瀬929番3先)(市道060-012号線)	0	61,752
	トンネル復旧工 一式		
	御成町11番先外(市道027-000号線外)	0	4,414
	(前年度からの繰越明許費)		
	視覚障害者誘導用ブロック設置工 面積19.6㎡		
	視覚障害者誘導用シート設置工 面積18.9㎡		
	歩道段差等改善工 1箇所		
	視覚障害者用道路横断帯設置工 延長7.6m		
19節	JR北鎌倉駅仮改札開設工事等負担金	21,000	14,936
	小袋谷横断歩道橋点検調査負担金	12,414	10,062

<主な特定財源>

・国県支出金	13,237
・地方債	305,700

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 15 道路新設改良費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路新設改良事業

道路課

※重点事業(事業CD:5-4-1-4)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路網の整備を図ることにより、都市環境の改善に寄与するため。

効果 交通の円滑化、安全の確保等、交通環境及び生活環境の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・大規模住宅地等の道路改良整備工事を行った。
- ・前年度からの繰越明許費により、市道024-000号線の道路改良整備工事を行った。
- ・市道209-081号線の道路改良整備工事及び市道060-000号線の歩道整備工事は、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
371,501	376,041	222,066	110,477	43,498
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
13節 道路舗装修繕計画策定業務委託料			1,798	497
15節 大規模住宅地等道路改良整備工事請負費			369,703	221,569
内訳				
今泉台四丁目18番先(市道061-000号線)			26,244	18,349
舗装工 延長271.6m 面積1,760㎡				
腰越1588番地先(市道022-000号線)			33,664	20,547
舗装工 延長243.1m 面積1,749㎡				
手広四丁目18番先(市道040-000号線)			32,713	0
上町屋810番地先(市道042-009号線)			34,160	24,605
舗装工 延長317.2m 面積1,820㎡				
梶原二丁目33番先(市道046-000号線)			42,585	23,967
舗装工 延長383.8m 面積1,713㎡				
大船一丁目2番先(市道209-081号線)			72,166	34,600
(翌年度への事故繰越) 舗装工 面積3,225㎡				
稲村ガ崎三丁目7番先(市道012-000号線)			34,895	25,152
舗装工 延長524.9m 面積1,975.1㎡				
砂押川沿い歩道整備工事(市道060-000号線)			93,276	48,854
(翌年度への繰越明許費) 舗装工 延長394.0m 面積2,006㎡				
排水工 現場打甲蓋工 延長204m 外				
鎌倉山二丁目17番先(市道024-000号線)			0	25,495
(前年度からの繰越明許費) 舗装工 延長350.3m 面積1,234㎡				
<主な特定財源>				
・国県支出金				24,681
・地方債				177,100

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 20 橋りょう維持費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

橋りょう維持補修事業

道路課

※重点事業(事業CD:5-4-1-5)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 道路整備
施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全な交通を確保するための施設保全を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 橋りょうの機能保持のため点検調査を行った。
- ・ 工事発注に必要な新富岡橋の修繕設計を行った。
- ・ 劣化が著しい橋りょう(廣瀬橋)の補修等を実施し、安全な交通を確保した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
67,824	67,824	56,340		11,484
＜支出内訳＞			当初予算額	支出済額
11節	橋りょう維持修繕料		2,000	0
13節	橋りょう点検調査業務委託料		24,473	17,214
	橋りょう補修修繕設計業務委託料(新富岡橋)		12,720	8,346
15節	橋りょう維持修繕等工事請負費		28,631	30,780
	(浄明寺二丁目1番先(廣瀬橋)地覆等補修)(市道035-040号線)			
＜主な特定財源＞				
	・国県支出金			25,948
	・地方債			15,300

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 5 河川総務費

◎下水道・河川 ○水辺環境の整備・創出・管理

河川管理運営事業

【 道水路管理課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 下水道・河川
施策の方針 水辺環境の整備・創出・管理

【 事業の目的 】

対象 河川維持管理協力団体等

意図 河川管理事業の円滑な推進を図るため。

効果 協力団体と連携し、良好な水辺環境を目指し、親しまれる川づくりを図る。

【 事業の内容 】

- ・河川の良好な環境を維持するため、河川の清掃及び目視による生態系調査等を協力団体に依頼した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,490	1,490	1,489		1
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節 河川維持管理協力団体報償費			240	240
11節 消耗品費			21	21
14節 浸水対策排水施設用地土地賃借料			1,229	1,228

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 5 河川総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

都市整備部下水道河川課(河川担当)

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
職員給与費		36,398	28,490
・ 2節 給料	一般職	17,000	13,928
	一般職職員 4人		
・ 3節 職員手当等		13,217	9,763
	扶養手当	693	640
	地域手当	2,654	2,185
	通勤手当	488	373
	超過勤務手当	2,239	848
	休日給	0	38
	期末勤勉手当	6,319	5,093
	住居手当	419	301
	児童手当	405	285
・ 4節 共済費		6,181	4,799
	市町村職員共済組合負担金	6,099	4,717
	雇用保険料	82	82

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 10 河川維持費

◎下水道・河川 ○水辺環境の整備・創出・管理

河川維持補修事業

【 下水道河川課 】

※重点事業(事業CD:5-6-2-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 下水道・河川

施策の方針 水辺環境の整備・創出・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 大雨や台風による洪水や溢水から市民等を守るとともに、市民等に親しまれる河川づくりを進めるため。

効果 河川護岸の崩壊等を未然に防ぐことや、市民等に親しまれる河川づくりを目指す。

【 事業の内容 】

- ・ 浸水被害解消に向け、雨水排水施設(関谷川排水区 関谷676番地先)の整備工事を行った。
- ・ 前年度からの繰越明許費により、準用河川砂押川(大船一丁目5番先)の根固工事を行った。
- ・ 前年度からの繰越明許費により、普通河川滑川(二階堂4番地先)のブロック積工事を行った。
- ・ 大塚川から新川への分水実施設計業務委託については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・ 準用河川のしゅんせつを行った。
- ・ 神奈川県河川協会へ参加した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
115,526	126,040	55,461	45,782	24,797
＜支出内訳＞			当初予算額	支出済額
11節 河川管理施設等維持修繕料			9,000	3,507
13節 準用河川しゅんせつ業務委託料			2,500	1,148
河川・雨水調整池施設調査業務委託料			29,635	14,904
大塚川から新川への分水実施設計業務委託料 (翌年度への繰越明許費)			60,302	14,520
15節 河川維持修繕工事請負費 (内訳)			12,960	19,462
関谷川排水区(関谷676番地先)			12,960	10,658
準用河川砂押川(大船一丁目5番先)(前年度からの繰越明許費)			0	2,106
普通河川滑川(二階堂4番地先)(前年度からの繰越明許費)			0	6,698
19節 神奈川県河川協会負担金			56	56
22節 地下埋設物移設等補償金			493	1,864
道路境界標亡失補償金			580	0

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 10 河川維持費

◎下水道・河川 ○水辺環境の整備・創出・管理

雨水施設維持管理事業

【 下水道河川課・浄化センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 下水道・河川

施策の方針 水辺環境の整備・創出・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 大雨や台風による洪水や溢水から市民等を守るため。

効果 雨水調整池やゲート類等の雨水排水施設について、良好な状態を保持する。

【 事業の内容 】

- ・ 雨水調整池(玉縄・台・腰越・笛田・ハイランド・岡本・城廻)やゲート類等の雨水排水施設について、良好な状態を保持するため、定期点検等を実施した。
- ・ 雨水調整池のしゅんせつを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
31,076	28,576	21,236		7,340
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節 事務補助嘱託員報酬 1人			1,059	1,058
9節 事務補助嘱託員費用弁償			144	56
11節 消耗品費			287	273
燃料費			27	0
印刷製本費			20	6
雨水調整池光熱水費			9,084	5,047
雨水施設等修繕料			2,500	995
玉縄調整池外壁タイル修繕料			1,553	633
玉縄調整池直流電源装置蓄電池交換修繕料			2,800	1,858
笛田調整池排水ポンプ(旧手広F号)修繕料			2,679	2,679
雨水調整池等管理施設維持修繕料			497	0
備品修繕料			54	54
12節 電信料			1,149	939
台調整池自家用電気工作物点検等手数料			1,552	1,549
13節 フラップゲート点検業務委託料			1,046	756
雨水調整池しゅんせつ業務委託料			2,600	1,750
玉縄調整池発電機棟建物警備委託料			93	93
水処理施設等運転管理業務委託料(雨水調整池巡回点検)			1,125	1,125
玉縄調整池ポンプ機器総合点検委託料			465	1,911
台調整池ポンプ機器及びゲート類総合点検委託料			1,208	0
ハイランド調整池ポンプ機器総合点検委託料			410	0
岡本調整池及び城廻調整池ポンプ機器点検委託料			270	0
笛田調整池排水ポンプ点検委託料			454	454

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎歴史環境 ○歴史的風土の保存

風致地区事務

【 都市景観課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 歴史を継承し、文化を創造するまち

分野 歴史環境

施策の方針 歴史的風土の保存

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 都市の風致の維持、歴史的風土の保存、緑地の保全を図るため。

効果 「鎌倉」の環境の維持

【 事業の内容 】

- ・ 風致地区内行為許可事務、近郊緑地特別保全地区内行為許可事務及び特別緑地保全地区内行為許可事務を行った。
- ・ 歴史的風土保存区域内行為届出受理事務及び近郊緑地保全区域内行為届出受理事務を行った。
- ・ 歴史的風土特別保存地区内行為許可申請書の神奈川県への経由事務及び同許可に関する調整を行った。
- ・ 古都保存法の啓発及び歴史的風土特別保存地区での行為許可、制限等について周知を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,682	1,682	1,333		349
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	事務補助嘱託員報酬 1人	1,059	1,036	
9節	事務補助嘱託員費用弁償	144	81	
11節	消耗品費	83	81	
	印刷製本費	113	100	
	風致地区内標柱維持修繕料	248	0	
19節	古都保存連絡協議会負担金	35	35	
<主な特定財源>				
	・国県支出金			160

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

緑政運営事業

【 みどり課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
分野 みどり
施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 緑の基本計画に沿った施策展開による計画を実現するため。

効果 緑の基本計画に基づき、種々の施策を展開し、緑豊かな都市環境の形成と市民の安全・快適な生活の確保を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 緑の保全、創造等、緑政の重要事項に対して方向づけを行うため、緑政審議会を開催した。
- ・ 都市緑地法第13条に基づき、特別緑地保全地区に標識を設置する業務を委託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,899	1,899	1,496		403
＜支出内訳＞			当初予算額	支出済額
1節	緑政審議会委員報酬 10人		306	254
	緑化推進専門委員報酬 1人		408	408
11節	消耗品費		116	115
	印刷製本費		486	245
13節	特別緑地保全地区標識設置業務委託料		309	200
19節	森林協会等負担金		274	274

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

緑地取得事業

【 みどり課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 緑の基本計画に基づく保全すべき緑地や、特別緑地保全地区内の土地の所有者

意図 都市緑地法に基づく買入れの申出に伴う取得及び法指定前の緑地保全の緊急対応のため。

効果 保全すべき緑地を確保する。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉近郊緑地特別保全地区内における行為の不許可処分に伴う買入れ申出により、都市緑地法第17条に基づき緑地を買い入れた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
201,637	160,634	160,633		1
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
13節 鎌倉近郊緑地特別保全地区不動産鑑定評価業務委託料			1,635	621
17節 鎌倉近郊緑地特別保全地区土地公有財産購入費			200,002	160,012
<主な特定財源>				
・国県支出金				88,006
・地方債				64,800

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

緑化啓発事業

みどり課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 緑の基本計画の周知を図り、市民と連携して緑の環境づくりを推進するため。

効果 緑地等の保全、管理活動を市民と連携して推進し、市域全体を緑豊かにすることにより、これまで確保してきた緑地や都市公園等の機能を高める。

【 事業の内容 】

- ・ 市民との連携による緑の環境づくりを推進するため、緑の学校、緑のレンジャー等の緑化啓発事業に関する業務を委託した。
- ・ 敷地が道路に接する部分を新たに緑化する者に補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,605	6,605	4,970		1,635
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	ポスターコンクール優秀賞等報償費		114	86
11節	消耗品費		31	31
13節	緑化啓発に関する業務委託料		3,581	3,581
<委託業務内容>				
○緑の学校の企画・運営等				
(参加者数=48名 開催回数=10回(延282名))				
○緑のレンジャー・ジュニアの企画・運営等				
(参加者数=37名 開催回数=11回(延257名))				
○緑のレンジャー・シニアの企画・運営等				
(参加者数=19名 開催回数=11回(延122名))				
○緑のレンジャー自主活動グループの支援・育成等				
(参加者数=76名 開催回数=23回(延489名))				
19節	第30回鎌倉市緑化まつり事業負担金		160	110
	まち並みのみどりの奨励事業補助金		1,551	911
	(件数=11件 総延長161.35m)			
	まち並みのみどりの奨励事業補助金(危険ブロック塀等対策事業分)		1,168	251
	(件数=2件 総延長20.0m)			

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

樹林維持管理事業

公園課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
分野 みどり
施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 良好な状態の樹林地を保育しようとするため。

効果 樹木の健全な生育と生態系を含む豊かなみどり空間を市民に提供する。

【 事業の内容 】

- ・ 6分割している対象樹林地を、平成29年度から毎年度2地区ずつ順番に、枝払いや枯損木・倒木の処理、除間伐などの業務を委託した。
- ・ 平成30年度は、長谷・極楽寺地区及び佐助・御成地区の2地区で事業を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
26,000	26,000	13,681		12,319

<支出内訳>

13節 樹林維持管理委託料

当初予算額	支出済額
26,000	13,681

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

緑地保全事業

【 みどり課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 美観上優れた樹木・樹林・生け垣の指定や、秩序ある市街地形成に必要な樹林地に対し、所有者の同意を得て、緑地保全契約を締結して保全するため。

効果 貴重な歴史的遺産と融合した緑地や豊かな自然環境を保全する。

【 事業の内容 】

- ・ 寄附金を緑地保全基金に積み立てた。
- ・ 保存樹木、樹林、生け垣の所有者に対する支援のため、奨励金を交付した。
- ・ 市街化区域にある緑地を保全するため、土地所有者と緑地保全契約を締結し奨励金を交付した。
- ・ 緑の基本計画に沿って確保した緑地のうち、荒廃が進むおそれのある樹林地等を質的に向上させるための整備業務を委託した。
- ・ 鎌倉市市民緑地設置要綱第8条に基づき、市民緑地に標識を設置する業務を委託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
33,546	33,956	30,088		3,868
＜支出内訳＞			当初予算額	支出済額
8節	市民緑地愛護会報償費		45	45
13節	確保緑地の適正整備委託料		3,000	1,592
	市民緑地標識設置委託料		106	95
19節	保存樹林奨励補助金		12,901	12,221
	170件 2,314,975.63㎡			
	保存樹木奨励補助金		609	570
	61件 319本			
	保存生け垣奨励補助金		841	714
	99件 8,670.54㎡			
	緑地保全契約奨励補助金		9,734	8,272
	116件 530,924.72㎡			
25節	緑地保全基金新規積立金		700	572
	緑地保全基金利子積立金		110	40
	緑地保全基金寄附等積立金		5,500	5,967

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

風致保存会助成事業

【 みどり課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
分野 みどり
施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 鎌倉の歴史的景観と豊かな自然環境を後世に伝えるために活動している(公財)鎌倉風致保存会の組織の充実を図り、自主的運営の強化を図るため。

効果 会員(市民等)と連携した緑の環境づくりを図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉風致保存会を運営するための補助金を交付した。
- ・ 鎌倉市風致保存基金に積み立てた一般からの寄附金を鎌倉風致保存会へ寄附金として交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
16,312	15,112	14,484		628

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
19節 風致保存会運営費補助金	10,312	10,312
25節 風致保存基金寄附等積立金	3,000	2,086
26節 風致保存会寄附金	3,000	2,086

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○都市公園等の整備・管理

緑地維持管理事業

公園課

※重点事業(事業CD:3-1-2-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 都市公園等の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 防災に配慮しつつ、樹木伐採等を行うことにより、良好な緑地の維持管理を図るため。

効果 より適確な植生管理を行うことにより良質な樹林地の形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 緑地の枝払いや倒木の恐れのある樹木の伐採等を行った。
- ・ 大雨等による災害を未然に防ぐための落石防止網設置等の防災工事については、前年度からの繰越分を含めて実施したが、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
78,745	88,533	69,477	6,399	12,657
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 消耗品費			6	6
光熱水費			84	44
管理施設維持修繕料			3,878	8,478
12節 電信料			48	39
緑地に関する賠償補償保険等保険料			1,637	1,373
13節 緑地維持管理委託料			44,318	35,372
常盤山緑地警備委託料			100	100
緑地維持管理計画策定業務委託料及び樹木調査業務委託料			23,500	20,088
15節 緑地維持管理工事請負費(翌年度への繰越明許費及び前年度からの繰越明許費の翌年度への事故繰越し)			5,174	3,700
22節 賠償金			0	277

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎都市景観 ○良好な都市景観形成事業の推進

都市景観形成事業

【 都市景観課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
分野 都市景観
施策の方針 良好な都市景観形成事業の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 景観法の活用により、開発行為や建築行為等に対する景観誘導、市民・事業者への普及・啓発・支援、行政の先導的な都市景観形成事業の推進を図るため。

効果 古都としての風格を基調とし、地域の特性を生かした都市景観を守り、つくり、育てることにより、潤いと安らぎのある快適なまちづくりを図る。

【 事業の内容 】

- ・ 古都としての風格ある都市景観形成を推進するための調査や助成などを行った。
- ・ 景観計画、景観地区等による良好な景観の形成を推進した。
- ・ 屋外広告物の規制についての普及啓発を行うとともに、鎌倉市屋外広告物条例の制定を含めた適正な規制・誘導策の検討を行った。
- ・ 旧村上邸など、景観上重要な建造物等の保全活用を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
40,830	63,691	59,495		4,196
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節 景観審議会委員報酬 10人		204	216	
旧村上邸公募型プロポーザル審査会委員報酬 3人		64	64	
8節 景観アドバイザー等報償費		119	34	
11節 消耗品費		79	79	
印刷製本費		256	256	
旧村上邸光熱水費		134	66	
維持修繕料		500	151	
12節 旧村上邸電信料		52	32	
違反屋外広告物除却協力員ボランティア保険料		17	12	
13節 違反屋外広告物運搬処分業務委託料		36	0	
行政刊行物販売委託料		30	9	
旧村上邸警備委託料		480	479	
旧村上邸庭園等管理(樹木管理)作業委託料		500	689	
景観重要建築物等調査業務委託料		315	315	
若宮大路・小町通り景観形成ガイドライン策定支援業務料		2,949	2,949	
景観重要建造物等保全基金周知パンフレット作成業務委託料		200	200	
旧村上邸保存活用支援等業務委託料		13,521	35,853	
19節 景観重要建築物等補助金		2,750	3,096	
景観形成協議会活動補助金		1	0	
25節 景観重要建造物等保全基金運用利子積立金		11	1	
景観重要建造物等保全基金寄附等積立金		18,612	14,994	
<主な特定財源>				
・ 国県支出金				17,246

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎生活環境 ○海浜の環境保全

海浜保全事業

【 環境保全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
分野 生活環境
施策の方針 海浜の環境保全

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 海浜の保全と活用を図るため。

効果 樹林地、河川、海浜を一体としたネットワークにおいて海浜の環境と景観の保全を図る。安全で快適に過ごせる空間づくりと海浜の活用を図る。

【 事業の内容 】

・海浜保全に係る業務、神奈川県・鎌倉市・藤沢市・茅ヶ崎市サーフ90ライフセービング支援業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
465	465	439		26
＜支出内訳＞			当初予算額	支出済額
11節 消耗品費			30	19
既存車止め等維持修繕料			155	150
12節 諸手続等手数料			5	0
13節 海岸の障害物処分等業務委託料			5	0
19節 サーフ90ライフセービング事業負担金			270	270

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

都市計画運営事務

【 都市計画課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 市街地整備
施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市全域の土地利用・まちなみ

意図 都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、もって市域の均衡ある発展と公共の福祉の増進に寄与するため。

効果 まちづくりの基本理念である「くらしに自然・歴史・文化がいきる古都鎌倉」(鎌倉市都市マスタープランより)を目指す。

【 事業の内容 】

- ・都市計画に関する事項の調査・審議のため都市計画審議会を運営するとともに、都市計画の決定・変更、都市計画事業の認可等の手続を行った。
- ・都市計画関連情報の更新に伴う都市計画図等の修正・印刷を行い、活用・販売した。
- ・都市計画業務支援システムを活用した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,700	6,700	6,280		420
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	都市計画審議会委員報酬 15人	396	296	
	事務補助嘱託員報酬 1人	1,059	1,029	
9節	事務補助嘱託員費用弁償	39	36	
11節	消耗品費	315	315	
	印刷製本費	2,050	1,850	
13節	都市計画業務支援システム保守業務委託料	454	454	
	都市計画関連データ等修正業務委託料	832	832	
	鎌倉都市計画公園都市計画変更図書作成業務委託料	1,188	1,112	
14節	都市計画業務支援システム用機器等賃借料	357	346	
19節	県都市計画実務担当者連絡協議会負担金	10	10	

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

市街地整備運営事業

【 駅周辺整備課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 市街地整備

施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 旧大船駅周辺整備事務所

意図 旧大船駅周辺整備事務所の維持管理を行うため。

効果 旧大船駅周辺整備事務所の適切な維持管理を行う。

【 事業の内容 】

・旧大船駅周辺整備事務所の維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,365	3,365	2,815		550
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	事務補助嘱託員報酬 1人	1,059	1,029	
9節	事務補助嘱託員費用弁償	146	104	
11節	消耗品費	622	422	
	光熱水費	606	413	
	設備等修繕料	410	402	
12節	電信料	212	41	
	消防設備点検手数料	17	16	
	火災等保険料	10	7	
13節	警備業務委託料	76	75	
	清掃等業務委託料	177	177	
14節	電話設備等賃借料	30	129	

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

古都中心市街地整備事業

【 駅周辺整備課 】

※重点事業(事業CD:5-2-1-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 市街地整備

施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 豊かな歴史的遺産と良好な自然環境を活かし、市民・来訪者が快適に共存できる風格と活力ある古都鎌倉の顔を再生・創造するため。

効果 鎌倉駅西口駅前広場等の整備を進め、多くの市民・来訪者が快適に共存できる古都鎌倉の玄関口の創出を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉駅西口駅前広場の暫定的整備に向けた、実施設計等を行った。
- ・ 鎌倉駅西口駅前広場の暫定的整備に向けた、権利者との調整及び関係機関等との協議を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,031	6,679	5,634		1,045
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
8節	技術アドバイザー謝礼	153	102	
13節	鎌倉駅西口駅前広場整備実施設計業務委託料	5,281	4,104	
	鎌倉駅西口駅前広場地下埋設物調査業務委託料	1,275	0	
	鎌倉駅西口駅前広場整備工事積算業務委託料	2,322	1,329	
	鎌倉駅西口駅前広場測量調査業務委託料	0	99	

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

深沢地域整備事業

【 深沢地域整備課 】

※重点事業(事業CD:5-2-1-4)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 市街地整備
施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 鎌倉駅周辺、大船駅周辺と並ぶ第三の都市拠点の形成を図るため。

効果 全市的な課題や少子高齢化社会に対応したまちづくりが実現する。

【 事業の内容 】

- ・市長の附属機関として「鎌倉市深沢地区まちづくり方針実現化検討委員会」を設置し、専門家による検討を実施した。
- ・深沢地区基本設計修正業務委託は、広域連携のまちづくりに向けた協議の結果を受け、工程・内容の見直しを行うことにより、実施しなかった。
- ・深沢地区まちづくり方針実現化検討業務委託料については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・土地地区画整理事業の専門家の支援を受け、権利者の相談窓口設置及び事業スキームに係る合意形成を図るとともに、都市計画図書等の作成などを行った。
- ・深沢地域整備事業用地の維持管理を行った。
- ・湘南地区整備連絡協議会の運営を行うとともに、市街地整備促進協議会に参加した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
63,832	39,459	26,139	11,232	2,088
＜支出内訳＞			当初予算額	支出済額
1節	事務補助嘱託員報酬 1人		1,059	1,036
	深沢地区まちづくり方針実現化検討業務企画等提案審査会委員報酬 3人		0	64
	深沢地区まちづくり方針実現化検討委員会委員報酬 7人		0	144
8節	技術アドバイザー謝礼		510	323
9節	事務補助嘱託員費用弁償		148	0
11節	一般文具等消耗品費		419	419
	陽画等印刷製本費		100	0
	深沢地域整備事業用地維持修繕料		500	954
13節	深沢地区基本設計修正業務委託料		20,607	0
	深沢地区まちづくり方針実現化検討業務委託料(翌年度への繰越明許費)		15,984	0
	深沢地区土地地区画整理事業支援業務委託料		21,936	21,181
	深沢地域整備事業用地管理業務委託料		2,419	1,544
19節	湘南地区整備連絡協議会負担金		100	100
	市街地整備促進協議会負担金		50	50
	慶應義塾大学SFC研究所xSDGコンソーシアム負担金		0	324

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

大船駅周辺整備事業

【 駅周辺整備課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 市街地整備
施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 「大船駅周辺地区都市(まち)づくり基本構想」に基づいて、大東橋周辺、鎌倉芸術館周辺、大船駅南部などの各地区において、都市基盤施設や都市環境の整備を推進するため。

効果 「大船駅周辺地区都市(まち)づくり基本構想」に定めた地区の将来像の実現を図る。

【 事業の内容 】

- ・大東橋周辺、鎌倉芸術館周辺、大船駅南部などの各地区のまちづくりのあり方について検討を行った。
- ・「砂押川桜保全再生計画」に基づく、住民主体の保全再生活動の支援を行った。
- ・大船駅東口第2地区市街地再開発事業区域内の未接続箇所への下水道管の整備に向けて実施設計を行った。
- ・JR大船駅笠間口から仲通、松竹通り方面に向かう歩行者動線の円滑化と大東橋の架け替えを促進するため、必要な用地の取得に向けた交渉を進めたが、権利者が変わり、改めて交渉を進める必要が生じたことから、大東橋南側用地に係る各業務委託は実施しなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
19,327	14,996	14,244		752
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
8節	鎌倉芸術館周辺地区まちづくり活動支援等謝礼	145	24	
11節	鎌倉芸術館周辺地区まちづくり活動支援等消耗品費	85	0	
12節	県道自費復旧事務費手数料	120	41	
13節	砂押川プロムナード枯枝胴ぶき等伐採処分業務委託料	270	139	
	大船駅周辺地区污水管渠整備工事実施設計業務委託料	8,705	0	
	大船駅周辺地区污水管渠整備工事地下埋設物調査(試掘)業務委託料	5,670	0	
	大船駅周辺地区污水管渠整備工事実施設計業務等委託料	0	14,040	
	大東橋南側用地建物等補償調査算定業務委託料	3,586	0	
	大東橋南側用地測量業務委託料	367	0	
	大東橋南側用地不動産鑑定評価業務委託料	379	0	

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

大船駅西口整備事業

【 駅周辺整備課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 市街地整備

施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 歩行者と車両分離による安全性の確保などにより、大船駅西口周辺の交通環境などの改善を図るため。

効果 大船駅西口の周辺交通環境などの改善により、市民等の安全性と利便性の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 横浜・鎌倉両市一体整備計画(案)及び都市計画道路阿久和鎌倉線整備の取扱いについて、関係機関と協議を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
31	31	0		31
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
11節 一般文具等消耗品費				21 0
陽画等印刷製本費				10 0

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

大船駅東口再開発事業特別会計繰出金

駅周辺整備課

【 事業の内容 】

- ・ 大船駅東口再開発事業特別会計への繰出金を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
15,616	7,800	7,800		0

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

28節 繰出金

15,616

7,800

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎総合交通 ○道路・交通体系の検討

交通環境整備事業

【 交通政策課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 総合交通
施策の方針 道路・交通体系の検討

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 公共交通機関における利便性の向上を図るとともに、慢性化する交通渋滞の解消や交通事故の減少を図る。

【 事業の内容 】

- ・市内の交通量を把握し交通対策上の基礎資料とするため、市内主要交差点等において、一般交通量及び渋滞状況調査並びに資料収集を行った。
- ・「パークアンドライド」及び「鎌倉フリー環境手形」について、交通関係事業者との調整を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,667	3,667	3,115		552

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
11節	消耗品費	840	836
	印刷製本費	422	345
	パークアンドライド案内看板維持修繕料	103	0
13節	交通量調査業務委託料	2,096	1,728
19節	三浦半島地域広域幹線道路整備促進期成同盟等負担金	206	206

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎総合交通 ○道路・交通体系の検討

交通体系整備事業

【 交通政策課 】

※重点事業(事業CD:5-3-1-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 総合交通

施策の方針 道路・交通体系の検討

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 公共交通機関における利便性の向上を図るとともに、慢性化する交通渋滞の解消や交通事故の減少を図る。

【 事業の内容 】

- ・前年度からの繰越明許費により、鎌倉市交通計画検討委員会を開催し、(仮称)鎌倉ロードプライシングの検討状況等の報告を行った。また、歩行者尊重道路の小町大路について、地元住民と協議し車両の速度抑制策について検討を進めた。
- ・前年度からの繰越明許費により、(仮称)鎌倉ロードプライシングの実施に向けて、ETCの動作確認や走行中の車両のナンバープレート読取状況の検証を行うとともに、意見交換会、シンポジウム等を実施し、市民・事業者等に対して取組の周知活動を行った。なお、国土交通省が設置する「鎌倉エリア観光渋滞対策実験協議会」での検討状況や、法制度及び課金システムに関する関係機関との協議の進捗等から、鎌倉市交通計画検討委員会・特別委員会及び同幹事会の開催を見送った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
689	38,543	30,733		7,810
＜支出内訳＞			当初予算額	支出済額
1節	交通計画検討委員会委員報酬 14人		378	58
	交通計画検討委員会特別委員会委員報酬		230	0
8節	交通政策専門員報償費		68	68
9節	交通計画検討委員会委員費用弁償		13	0
13節	鎌倉地域地区交通計画策定支援業務委託料 (前年度からの繰越明許費)		0	6,836
	交通需要管理検討業務委託料(前年度からの繰越明許費)		0	23,771
＜主な特定財源＞				
	・国県支出金			14,753

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎総合交通 ○道路・交通体系の検討

鎌倉駅東口駅前広場整備事業

道路課

※重点事業(事業CD:5-3-1-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 総合交通

施策の方針 道路・交通体系の検討

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 鎌倉駅東口駅前広場における歩行者の安全な利用空間の改善を図るとともに、公共交通機関の利便性の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉駅東口駅前広場について、前年度からの繰越明許費により、実施設計等業務委託を行った。
- ・ 鎌倉駅東口駅前広場について、実施設計に基づき、整備工事に着手し、継続費年割分の残額を翌年度に逐次繰越した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
215,468	236,766	74,116	155,467	7,183
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
13節 鎌倉駅東口駅前広場実施設計等業務委託料 (前年度からの繰越明許費)		0	19,395	
鎌倉駅東口駅前広場整備工事(土木)監理等業務委託料 (継続事業・30年度分)		11,294	0	
鎌倉駅東口駅前広場整備工事(建築)監理等業務委託料 (継続事業・30年度分)		5,120	0	
15節 鎌倉駅東口駅前広場整備工事請負費(継続事業・30年度分)		189,054	50,000	
22節 物件移転等補償費		10,000	4,721	
<主な特定財源>				
・ 地方債				37,500

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎総合交通 ○公共交通機関の輸送力の向上と利用促進

公共交通支援事業

【

交通政策課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 総合交通

施策の方針 公共交通機関の輸送力の向上と利用促進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 公共交通機関の輸送力の向上と利用促進を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 前年度からの繰越明許費により、鎌倉市移動円滑化基本構想に基づき、公共交通事業者が実施するエレベーター設置について支援した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
33,332	16,666	16,666		0

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
19節 湘南深沢駅舎エレベーター設置補助金	33,332	0
富士見町駅舎エレベーター設置補助金(前年度からの繰越明許費)	0	16,666

<主な特定財源>

・ 国県支出金	8,333
---------	-------

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

国県道対策運営事務

道路課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 都市計画法、道路法等に基づき国県道の整備・改良を促進し、良好な道路交通機能等の向上を達成するため。

効果 交通渋滞の緩和、災害時を含む緊急活動の円滑化を図る。

【 事業の内容 】

- ・都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業に関する協議・調整を行った。
- ・国・県等が施工する都市計画道路等に関する協議・調整を行った。
- ・供用中の国・県道に関する住民要望に対応した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,283	1,283	1,182		101
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	事務補助嘱託員報酬 1人	1,059	1,036	
9節	事務補助嘱託員費用弁償	144	69	
11節	消耗品費	23	23	
14節	会場使用料	3	0	
19節	首都圏中央連絡道路建設促進期成同盟会負担金	18	18	
	関東国道協会負担金	36	36	

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

国県道対策事業

道路課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 道路整備
施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業の促進を図るため。

効果 神奈川県及び市民等との連絡調整を行うことにより、都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業の円滑な実施を図る。

【 事業の内容 】

・都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業に伴う事務事業の円滑な執行を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
26	26	26		0

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

11節 一般文具等消耗品費

26

26

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路整備計画等運営事務

道路課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路網の整備を図ることにより、都市環境の改善に寄与するため。

効果 交通の円滑化、安全の確保等、交通環境の向上及び都市景観等の生活環境の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・神奈川県都市計画街路事業促進協議会に加入し、その活動により都市計画道路の整備の促進を図った。また、無電柱化を推進する市区町村長の会に加入し、国・民間等との連携・協力を図り、より一層の推進を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
85	85	85		0
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
19節 神奈川県都市計画街路事業促進協議会負担金				82 82
無電柱化を推進する市区町村長の会負担金				3 3

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

街路樹維持管理事業

公園課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 道路整備
施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 街路樹の適度な生育等を促し、緑豊かな道路空間の形成とまち並みを整え、市民との協働により適切な管理を行うため。

効果 まち並みを整えるとともに潤いある道路空間を提供し、公園緑地等と連携したみどりのネットワークの形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 街路樹を市民自らが守り育てる活動を行っている街路樹愛護会を支援するため、報償金の支給や花苗の配布を行った。
- ・ 街路樹の維持管理を委託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
33,623	33,623	24,703		8,920
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	街路樹愛護会報償費		1,350	1,265
11節	消耗品費		400	305
13節	大船駅東口花壇維持管理委託料		931	931
	街路樹維持管理委託料		30,942	22,202

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

【

職員課

】

【 対象となる職員 】

共創計画部交通政策課

環境部環境保全課(環境保全担当)

まちづくり計画部のうち深沢地域整備課・駅周辺整備課(駅周辺整備担当)・都市計画課

都市景観部のうち都市景観課・みどり課

都市整備部のうち道路課(国県道対策担当)・公園課

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
職員給与費		527,080	508,759
・ 2節 給料	一般職	236,655	225,375
	一般職職員 59人		
	短時間勤務職員 2人		
・ 3節 職員手当等		202,037	197,766
	扶養手当	8,503	8,908
	地域手当	38,360	36,724
	通勤手当	7,288	7,016
	超過勤務手当	14,185	17,982
	休日給	101	211
	管理職手当	11,646	11,645
	期末勤勉手当	105,977	102,120
	住居手当	11,042	8,876
	管理職員特別勤務手当	0	69
	児童手当	4,935	4,215
・ 4節 共済費		88,388	85,618
	市町村職員共済組合負担金	86,423	84,542
	社会保険料	1,784	779
	雇用保険料	181	297

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 15 公共下水道費

◎下水道・河川 ○下水道の整備・管理

下水道事業特別会計繰出金

【 都市整備総務課 】

【 事業の内容 】

・ 下水道事業特別会計への繰出金を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,359,275	2,252,962	2,252,962		0

<支出内訳>

28節 繰出金

当初予算額	支出済額
2,359,275	2,252,962

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 20 公園費

◎みどり ○都市公園等の整備・管理

公園運営事業

公園課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 都市公園等の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な整備を図るため。

効果 公園緑地等の良好な環境の形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 散在ガ池森林公園に都市公園等緑化推進専門委員を配置し、樹木育成調査及び樹木病虫害防止の調査を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
168	168	168		0
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	都市公園等緑化推進専門委員報酬 1人		68	68
19節	日本公園緑地協会負担金		50	50
	全国都市公園整備促進協議会負担金		42	42
	神奈川県公園緑地行政連絡協議会負担金		8	8

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 20 公園費

◎みどり ○都市公園等の整備・管理

公園維持管理事業

公園課

※重点事業(事業CD:3-1-2-4)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 都市公園等の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な維持管理を図るため。

効果 適確な施設管理を行うことにより良質な公園の形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 樹木剪定、草刈、小規模な修繕など良好な公園の維持管理を図るための業務を指定管理者に委託し管理を行った。
- ・ 遊具等の公園施設について、経年劣化に伴う修繕及び市民要望による設置等を行い、より市民ニーズに対応した公園の整備を行った。
- ・ 公園施設長寿命化計画を策定した。
- ・ 前年度から繰越明許費による源氏山公園第一公衆トイレ改築事業に係る設計業務が完了し、源氏山公園第一公衆トイレ改築工事に着手したが、年度内に完了しないため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
383,369	452,865	389,486	41,776	21,603
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	指定管理者選定委員会委員報酬 5人	208	146	
11節	消耗品費	400	396	
	維持修繕料	16,028	15,242	
12節	ボランティア保険料	15	15	
13節	都市公園(笛田公園を除く)指定管理料	202,433	202,433	
	都市公園(笛田公園)指定管理料	22,931	22,930	
	鎌倉広町緑地指定管理料	25,800	25,800	
	児童遊園等管理委託料	9,918	9,918	
	公園維持管理委託料	1,501	1,318	
	鎌倉広町緑地管理事務所警備委託料	103	102	
	都市公園管理業務委託料(岩瀬下関防災公園、笛田一丁目公園)	4,904	4,904	
	公園施設設置委託料	5,000	3,456	
	鎌倉市公園施設長寿命化計画委託料	51,797	40,133	
	源氏山公園第一公衆トイレ改築事業設計委託料 (前年度からの繰越明許費)	0	3,672	
	源氏山公園仮設トイレ設置委託料	0	499	
	源氏山公園第一公衆トイレ改築工事監理業務委託料 (翌年度への繰越明許費)	0	0	
14節	児童遊園等土地賃借料	18,877	18,881	
	梶原六本松公園土地賃借料	3,594	3,594	
	源氏山公園仮設トイレ使用料(翌年度への繰越明許費)	0	68	
15節	源氏山公園第一公衆トイレ下水道敷設工事請負費	15,000	11,978	

材木座たぶのき公園改修工事請負費	4,860	2,841
源氏山公園第一公衆トイレ改築工事(翌年度への繰越明許費)	0	21,160

<主な特定財源>

・国県支出金	11,100
・地方債	15,800

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 20 公園費

◎みどり ○都市公園等の整備・管理

公園整備事業

公園課

※重点事業(事業CD:3-1-2-5)

【総合計画上の位置づけ】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
分野 みどり
施策の方針 都市公園等の整備・管理

【事業の目的】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な整備を図るため。

効果 公園緑地等の良好な環境の形成を図る。

【事業の内容】

- ・前年度からの繰越明許費により、(仮称)山崎・台峯緑地の施設整備工事を行った。
- ・(仮称)山崎・台峯緑地等の供用開始に向けて、樹林管理等を行った。
- ・(仮称)山崎・台峯緑地の供用開始に向けて、都市計画決定図書を作成した。
- ・(仮称)山崎・台峯緑地の施設整備工事については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・(仮称)山ノ内宮下小路2号緑地の供用開始に向けて、都市計画決定図書を作成した。
- ・(仮称)浄明寺五丁目広場整備工事については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
118,273	179,891	51,890	99,541	28,460
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節 消耗品費		85	85	
印刷製本費		36	0	
光熱水費		116	0	
12節 ボランティア活動保険料		10	0	
13節 都市公園等整備事業用地樹林管理業務等委託料		6,175	4,416	
(仮称)山ノ内宮下小路2号緑地用地測量業務委託料		0	477	
浄明寺五丁目広場埋設構造物撤去業務委託料		0	648	
(仮称)山崎・台峯緑地(公園)建築物工事監理業務委託料		3,968	0	
(翌年度への事故繰越し)				
(仮称)山ノ内宮下小路2号緑地都市計画決定図書作成業務委託料		1,000	896	
(仮称)山崎・台峯緑地(保全)都市計画決定図書作成業務委託料		1,372	1,296	
15節 (仮称)山崎・台峯緑地(公園)整備工事請負費		73,395	0	
(翌年度への繰越明許費及び事故繰越し)				
(仮称)浄明寺五丁目広場整備工事請負費		31,856	0	
(翌年度への繰越明許費)				
(仮称)山崎・台峯緑地(公園)整備工事請負費		0	43,127	
(前年度からの繰越明許費)				
19節 (仮称)山崎・台峯緑地水道加入金		130	945	
(仮称)浄明寺五丁目広場水道加入金(翌年度への繰越明許費)		130	0	
<主な特定財源>				
・国県支出金				22,800
・地方債				16,800

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 20 公園費

◎みどり ○都市公園等の整備・管理

公園用地取得事業

公園課

※重点事業(事業CD:3-1-2-6)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 都市公園等の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な整備を図るため。

効果 公園緑地等の良好な環境の形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・ (仮称)山崎・台峯緑地用地を取得し、早期開園に向け準備を行った。
- ・ (仮称)浄明寺五丁目広場の整備に向けて、用地取得を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
292,658	290,187	142,344		147,843
＜支出内訳＞			当初予算額	支出済額
11節 消耗品費			90	89
印刷製本費			210	2
13節 (仮称)山崎・台峯緑地用地不動産鑑定評価業務委託料			3,055	583
17節 (仮称)山崎・台峯緑地(公園)用地購入費			120,586	39,161
(仮称)山崎・台峯緑地(保全)用地購入費			84,949	19,201
(仮称)浄明寺五丁目広場用地購入費			83,768	83,308
＜主な特定財源＞				
・ 国県支出金				19,400
・ 地方債				97,300

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎住宅・住環境 ○鎌倉らしい住まいづくり

市営住宅管理運営事業

【 住宅課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 住宅・住環境

施策の方針 鎌倉らしい住まいづくり

【 事業の目的 】

対象 住宅に困窮している市民及び市営住宅入居者

意図 市営住宅の入居者選考を行うとともに、市営住宅建物の修繕等により適正な管理・運営を行うため。

効果 市営住宅入居の公平性及び入居者が安心して住める居住環境を確保する。

【 事業の内容 】

- ・市営住宅入居者選考委員会の開催など、市営住宅の運営に係る事務を行った。
- ・市営住宅の指定管理者による維持管理を行った。
- ・借り上げ住宅の賃借料の支払いを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
150,277	149,817	144,352		5,465
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節 市営住宅入居者選考委員会委員報酬 5人			104	104
8節 市営住宅抽選会立会人謝礼			14	5
11節 消耗品費			72	40
印刷製本費			17	0
市営住宅各種修繕料			2,592	2,716
増圧給水ユニット交換修繕料			8,890	4,320
13節 公営住宅管理システム保守点検業務委託料			729	729
市営住宅等指定管理料			39,500	39,500
福祉型借上住宅建物不動産鑑定評価業務委託料			270	0
市営住宅高所低木等剪定委託料			600	422
公営住宅管理システム改元対応委託料			324	324
14節 公営住宅管理システム用機器等賃借料			699	699
福祉型借上市営住宅賃借料			94,542	93,761
市営住宅入居者募集受付会場賃借料			0	40
19節 神奈川県公共住宅供給推進協議会負担金			3	2
市営住宅管理費等負担金			1,920	1,690
22節 過少収納時補てん金			1	0
<主な特定財源>				
・国県支出金				7,630

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎住宅・住環境 ○鎌倉らしい住まいづくり

住宅政策推進事業

住宅課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 住宅・住環境
施策の方針 鎌倉らしい住まいづくり

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 若年ファミリー層の転入促進と転出抑制、高齢者・障害者等が暮らし続けることができる住宅施策を推進し、安心して住むことができる環境を整える。

効果 人口の年齢構成バランスに配慮した住まいづくりを図る。

【 事業の内容 】

- ・ 若年ファミリー層転入促進等の施策の推進及び住宅マスタープランに掲げる住宅施策の展開を図った。
- ・ 高齢者、障害者及び子育て世帯の民間賃貸住宅への入居等の居住支援を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
410	410	320		90
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節 住宅政策アドバイザー報償費			135	45
13節 居住支援業務委託料			275	275
<主な特定財源>				
・ 国県支出金				121

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎住宅・住環境 ○鎌倉らしい住まいづくり

空き家等対策推進事業

【 住宅課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 住宅・住環境

施策の方針 鎌倉らしい住まいづくり

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 空き家等対策を総合的かつ計画的に実施するため。

効果 適切な管理が行われていない空き家等に関する施策を推進し、市民の生活環境の保全を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 市民等から寄せられる空き家等に関する相談に対応した。
- ・ 鎌倉市空き家等対策計画に基づき、具体的な施策の構築を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,786	3,786	3,055		731
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	空き家等対策協議会委員報酬 11人		224	112
11節	消耗品費		69	64
	印刷製本費		317	244
13節	空き家管理システム整備業務委託料		2,528	2,527
14節	空き家管理システム使用料		648	108

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎住宅・住環境 ○鎌倉らしい住まいづくり

市営住宅集約化事業

住宅課

※重点事業(事業CD:5-5-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 住宅・住環境
施策の方針 鎌倉らしい住まいづくり

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公共施設再編計画に基づき、老朽化した市営住宅の集約・建替えを行うため。

効果 市営住宅入居者が安心して住める居住環境を確保する。

【 事業の内容 】

- ・老朽化した市営住宅の集約化を行うため、課題の整理・検討を行った。
- ・PFI等民間活力の活用を前提とした事業者選定に向けて事業の実施方針案を作成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
27,007	20,609	15,290		5,319
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	市営住宅集約化事業事業者選定委員会委員報酬 5人	104	0	
11節	消耗品費	32	32	
13節	市営住宅集約化事業アドバイザー業務委託料	15,876	9,018	
	市営住宅集約化候補地測量業務委託料	5,282	3,803	
	市営住宅集約化候補地既存建物アスベスト含有調査委託料	4,657	921	
22節	市営住宅入居者移転補償費	1,056	1,516	
<主な特定財源>				
	・国県支出金			8,724

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
都市整備部住宅課

【 職員給与費 】 (単位:千円)

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
職員給与費		52,854	42,598
・ 2節 給料 一般職		22,984	18,842
	一般職職員 5人		
・ 3節 職員手当等		20,856	16,512
扶養手当		737	767
地域手当		3,707	3,089
通勤手当		626	476
超過勤務手当		2,510	1,025
管理職手当		987	987
期末勤勉手当		10,611	8,809
住居手当		1,438	1,359
児童手当		240	0
・ 4節 共済費		9,014	7,244
	市町村職員共済組合負担金		